

自社マスタ作成編

標準マスタを利用して自社仕様の部屋マスタ、外部標準マスタ、物件マスタ、専用マスタを作成する手順、およびマスタのバックアップ方法について解説します。

また、部屋マスタ、外部標準マスタ、仕上マスタの設定項目についても解説しています。

1 部屋マスタを自社用に編集する	2
部屋マスタと図面の関係	2
部屋仕様を設定する	3
内壁仕上を変更する	4
床仕上を変更する	5
天井仕上を変更する	6
2 外部標準マスタを自社用に編集する	11
外部標準マスタと図面の関係	11
マスタの識別名を変更する	12
外壁仕上を変更する	13
屋根仕上を変更する	14
軒天仕上を変更する	15
3 自社用の物件マスタ、専用マスタの作成	16
物件マスタと専用マスタの関係	16
物件初期設定を変更する	17
物件マスタに書き込む	19
平面図 専用初期設定を変更する	20
平面図 専用マスタに書き込む	21
4 マスタのバックアップ・リストア	23
ユーティリティを起動する	23
マスタをバックアップする	23
マスタをリストアする	24
5 マスタ設定	25
部屋マスタ	25
内壁仕上マスタ	29
床仕上マスタ	33
外部標準マスタ	35
外壁仕上マスタ	38
屋根仕上マスタ	41
内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ	43

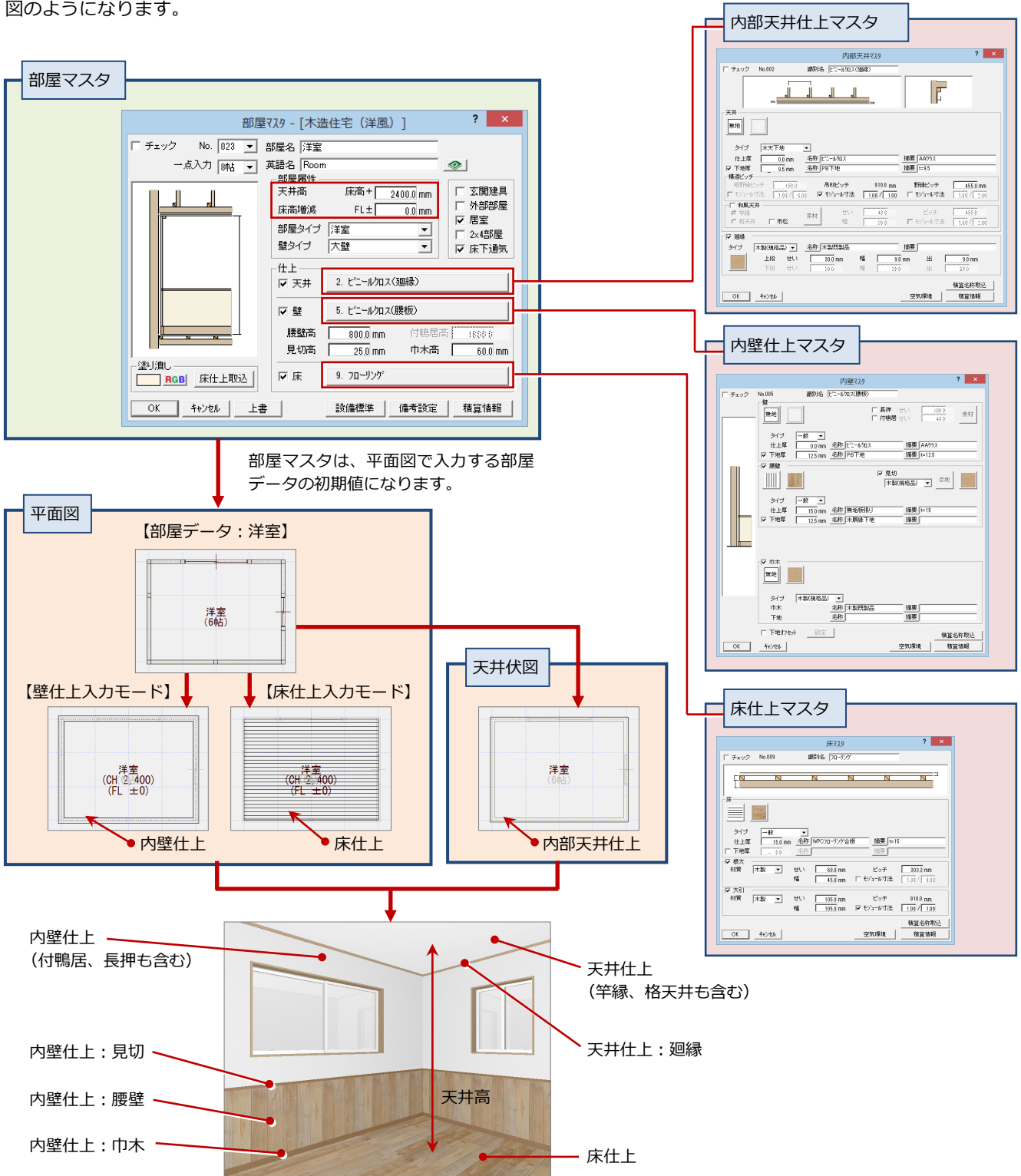
1 部屋マスタを自社用に編集する

自社用の部屋仕様を作成する手順には、標準で用意されている部屋マスタを編集する方法と、新しく部屋マスタを登録する方法があります。ここでは、標準で用意されている部屋マスタを編集する方法を解説します。

なお、標準のマスタを変更して上書きしてしまうため、元のマスタはなくなります。元のマスタを残したい場合は、標準のマスタを複製して新しい部屋マスタを登録しましょう。新しく部屋マスタを登録する方法については、P.8を参照してください。

部屋マスタと図面の関係

内壁仕上マスタ、床仕上マスタ、内部天井マスタを含めた部屋マスタと図面の関係を見ましょう。部屋マスタと仕上マスタとは下の図のようになります。



部屋仕様を設定する

標準で用意されている部屋マスタ「洋室」を編集して、自社用の洋室（次の仕様）に変更してみましょう。

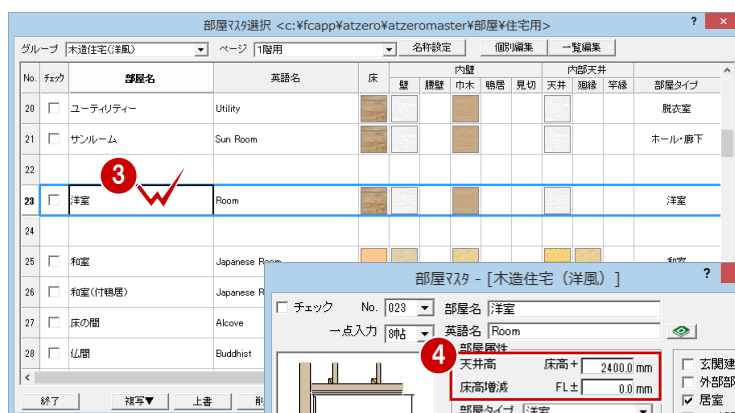
■ 自社用の洋室仕様

マスタ	名称	仕様
内壁仕上	エコクロス	壁 仕上: エコクロス 下地: 石膏ボード 素材: 再生紙 1 巾木: 木製既製品
床仕上	無垢フローリング	床 仕上: 無垢材 下地: 床下地合板 素材: フローリング 106
内部天井仕上	クロス 木製	天井仕上: ビニールクロス 下地: 石膏ボード 廻縁: 木製既製品

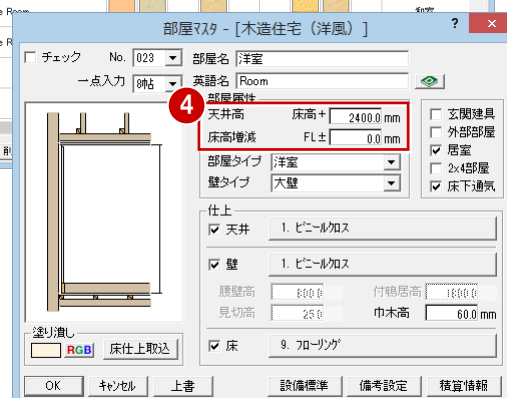
①② [共通マスタ] をクリックして、[部屋マスタ] を開きます。



③ [部屋マスタ選択] ダイアログの一覧で、「洋室」をダブルクリックします。



④ [部屋マスタ] ダイアログで、次のように部屋の高さ情報を設定します。
[天井高] : 2400
[床高増減] : 0



注意：天井高の基準

天井高の基準は部屋の床面（FL±床高増減の位置）になります。

内壁仕上を変更する

通常、内壁仕上マスタからその部屋にあった仕上を選びますが、ここでは、標準で用意されているマスタ「ビニールクロス」を編集して「エコクロス」を登録してみましょう。

※ 仕上マスタを上書きするため、既存の「ビニールクロス」はなくなります。

1 2 [壁] にチェックが付いていることを確認して、「ビニールクロス」をクリックします。

3 4 [内壁仕上マスタ選択] ダイアログで、「洋室」で使用する内壁仕上マスタを選びます。

ここでは、No.1の「ビニールクロス」を選んで[マスタ編集]をクリックします。

5 6 [内壁マスタ] ダイアログにて、標準の「ビニールクロス」の内容を変更して、自社用の「エコクロス」を登録します。ここでは、次のように各項目を変更して[OK]をクリックします。

[識別名] : エコクロス

[素材] : 「再生紙 1」

[仕上厚] : 20

名称 : エコクロス、摘要 : 空欄

[下地厚] : 15

名称 : 石膏ボード、摘要 : t=12.5

⇒ ハッチング・素材の変更については、P.7 参照

7 [内壁仕上マスタ選択] ダイアログで、[選択] をクリックします。

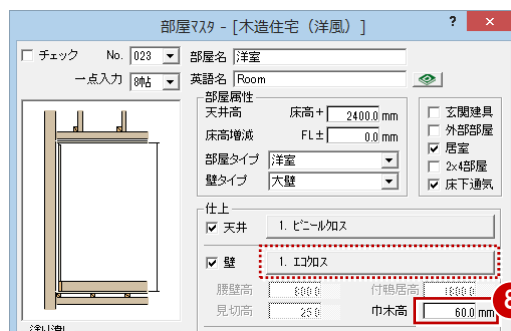
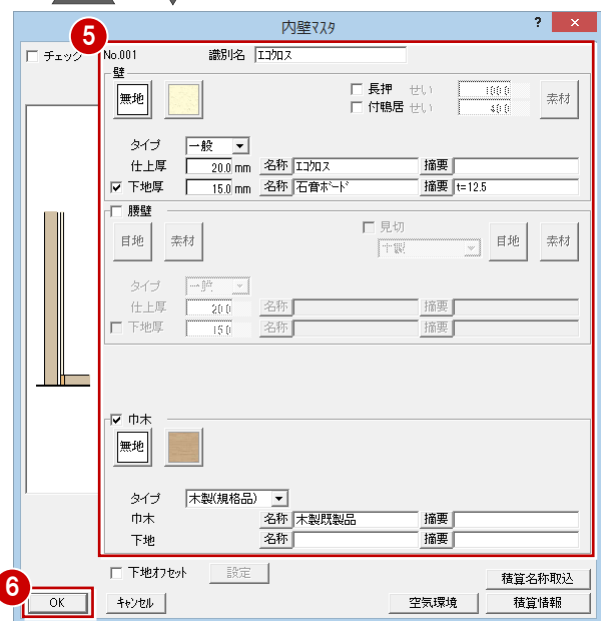
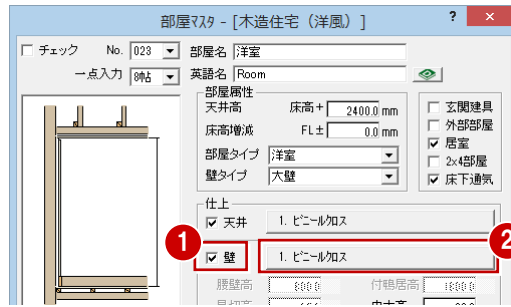
[部屋マスタ] ダイアログで壁仕上「エコクロス」が割り当てられます。

8 [巾木高] を設定します。

仕上マスタを編集すると

その編集した仕上マスタが割り当てられている各部屋マスタにも反映されます。

内壁仕上「ビニールクロス」の内容を「エコクロス」に変更した場合、たとえば、洋室以外にホールにも「ビニールクロス」が使用されている場合、自動的にホールの内壁仕上も「エコクロス」に変更されます。



仕上マスタの名称・摘要について

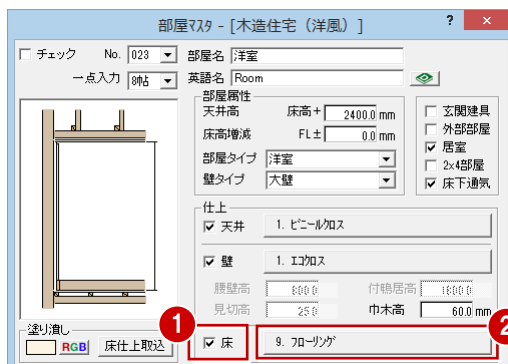
仕上マスタの名称・摘要は、[共通初期設定 (モード)] ダイアログの設定が影響します。

⇒ 詳しい解説については、ヘルプ「リファレンスガイド」の「共通初期設定 : モード」の「AM 素材の名称・摘要・積算情報を使用するには」参照

床仕上を変更する

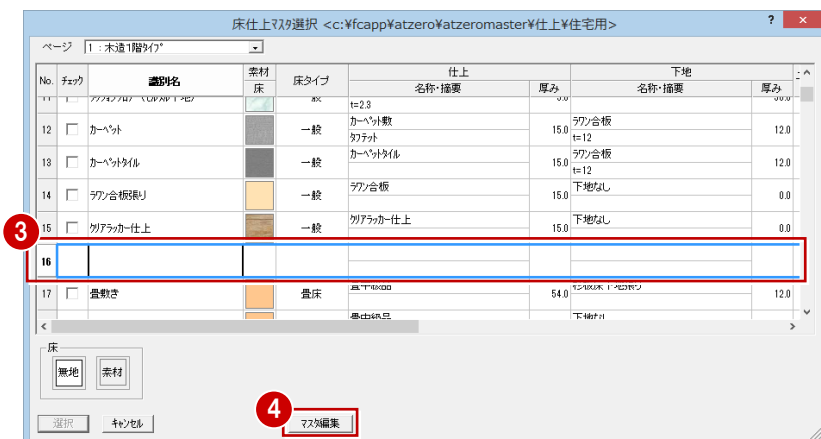
ここでは、新しい床仕上マスタを作成してみましょう。

①② [床] にチェックが付いていることを確認して、「フローリング」をクリックします。



③④ [床仕上マスタ選択] ダイアログで、部屋マスタ「洋室」で使用する床仕上マスタを選びます。

ここでは、未登録欄を選んで [マスタ編集] をクリックします。



⑤⑥ [床マスタ] ダイアログにて、自社用の床仕上を設定します。

ここでは、次のように各項目を変更して [OK] をクリックします。

[識別名] : 無垢フローリング

[目地] : 横、間隔 100

[素材] : 「フローリング 106」

[仕上厚] : 12

名称 : 無垢材、摘要 : t=12

[下地厚] : 12

名称 : 床下地合板、摘要 : 空欄

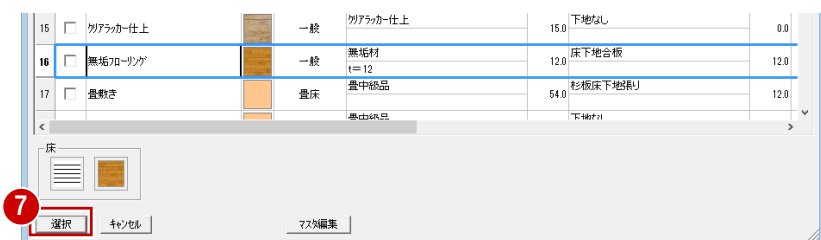
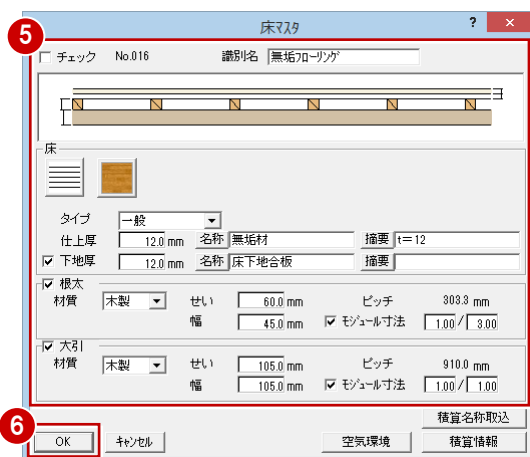
[根太] : [せい] 60、[幅] 45

[モジュール寸法] : ON

[大引] : [せい] 105、[幅] 105

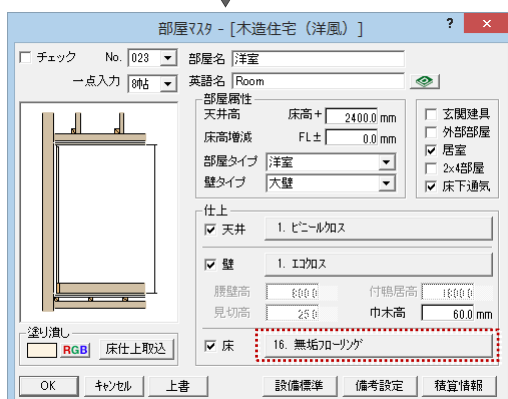
[モジュール寸法] : ON

⇒ ハッチング・素材の変更については、P.7 参照



⑦ [床仕上マスタ選択] ダイアログで、[選択] をクリックします。

[部屋マスタ] ダイアログで床仕上「無垢フローリング」が割り当てられます。



天井仕上を変更する

ここでは、標準で用意されているマスタ「ビニールクロス（廻縁）」を編集して、「クロス木製」を登録してみましょう。

※ 仕上マスタを上書きするため、既存の「ビニールクロス（廻縁）」はなくなります。

①② [天井] にチェックが付いていることを確認して、「ビニールクロス」をクリックします。

③④ [内部天井仕上マスタ選択] ダイアログで、部屋マスタ「洋室」で使用する天井仕上マスタを選びます。
ここでは、No.2の「ビニールクロス（廻縁）」を選んで [マスタ編集] をクリックします。

⑤⑥ [内部天井マスタ] ダイアログにて、自社の内部天井仕上を設定します。
ここでは、次のように各項目を変更して [OK] をクリックします。

[識別名]：クロス 木製

[仕上厚]：0

名称：ビニールクロス、摘要：空欄

[下地厚]：9.5

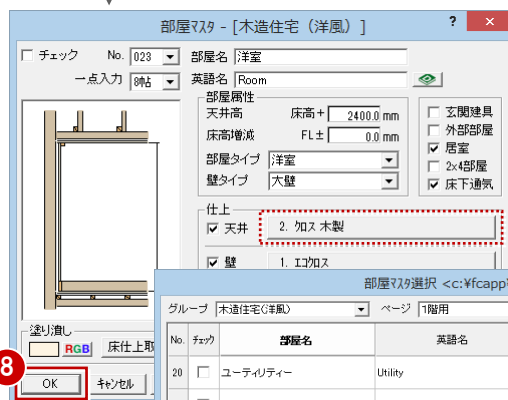
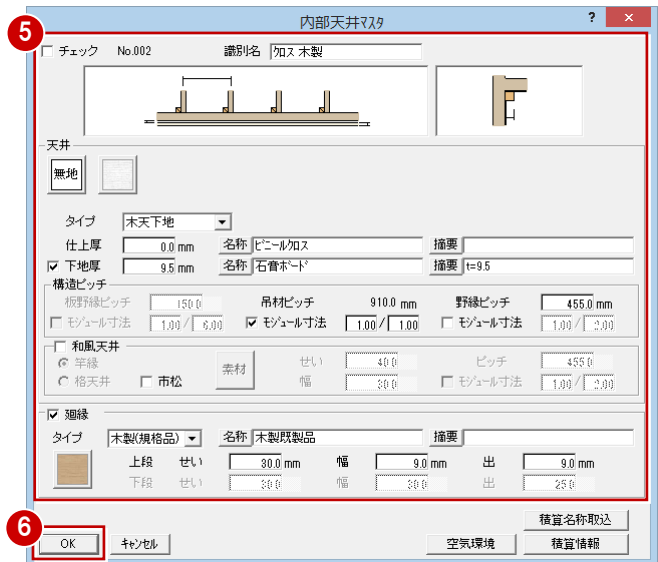
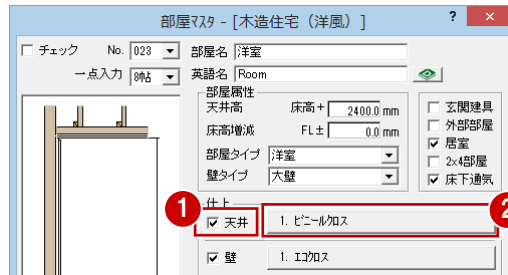
名称：石膏ボード、摘要：t=9.5

⑦ [内部天井仕上マスタ選択] ダイアログで、[選択] をクリックします。
[部屋マスタ] ダイアログで天井仕上「クロス 木製」が割り当てられます。

⑧ [部屋マスタ] ダイアログで、[OK] をクリックして [部屋マスタ選択] ダイアログに戻ります。

⑨ [部屋マスタ選択] ダイアログで、[終了] をクリックします。

⑩ 保存の確認画面で [[はい] をクリックすると、「洋室」の部屋マスタが、設定した内容で上書き保存されます。



【補足】ハッチング・素材を変更するには

図面で表現されるハッチング、パースモニタで表現される素材を変更するには、次のように操作します。

- ハッチングを変更する -

- 1 目地ボタンをクリックします。
- 2 [ハッチング属性変更] ダイアログの [パターン] をクリックします。
- 3 [ハッチングパターン選択] ダイアログで、使用するハッチングパターンをダブルクリックして選択します。
- 4 [ハッチング属性変更] ダイアログで、ハッチングの角度・間隔を設定して、[OK] をクリックします。

目的のパターンが一覧にないときは、ページタブを切り替えて2ページ目以降を確認します。

屋根や外壁用の目地 (柄) は専用グループに用意されています。[グループ] を「2: 専用」に切り替えて、一覧から選択します。

- 素材を変更する -

- 1 素材ボタンをクリックします。
 - 2 [素材選択] ダイアログで [ArchiMaster 素材] にチェックが入っていることを確認して、ツリーから使用する素材グループ、一覧から使用する素材を選択します。
- ※ パックされた素材の場合は、素材を選択して表示される [バック] ダイアログから使用する素材を選びます。

【補足】複数の仕上マスタをまとめて変更するには

仕上を部屋マスタに割り当てる前に仕上マスタを登録するには、[共通マスタ] ダイアログで各仕上マスタを開いて登録します。複数の仕上マスタをまとめて登録する場合に便利です。

※ 仕上マスタを開いて登録する場合は、仕上マスタ一覧でマスタの複写が可能です。

No.	チェック	識別名	壁	天井	巾木	鴨居	見切	タイプ
38	<input type="checkbox"/>	ビニル加工B巾木縁付						一般
39	<input type="checkbox"/>	ビニル加工B(縁合板)						一般
40								
41	<input checked="" type="checkbox"/>	エコー加工(玄関)						一般
42	<input checked="" type="checkbox"/>	エコー加工(洋室)						一般
43								
44								

【補足】新しい部屋マスタを登録するには

標準で用意されている部屋マスタを複製して新しい部屋マスタを登録するには、次のように操作します。
ここでは、「物入」を複製して、「小屋裏」(右の仕様)を登録してみましょう。

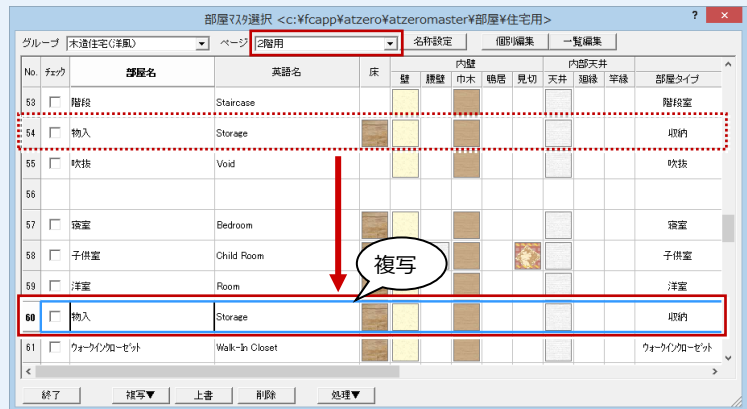
■ 自社用の小屋裏仕様

マスタ	名称	仕様
内壁仕上	石膏ボード	壁 仕上 : 石膏ボード t=12.5 巾木 : 木製既製品
床仕上	ラワン合板	床 仕上 : ラワン合板 t=12
内部天井仕上	石膏ボード	天井仕上 : 石膏ボード t=9.5 廻縁 : 木製既製品

- 部屋マスタを複製する -

[部屋マスタ選択]ダイアログで複製する部屋マスタを選び、空いた行に複製します。
ここでは、[ページ]を「2階用」に変更して「物入」を複製します。

⇒ マスタを複製する方法については、P.9 参照

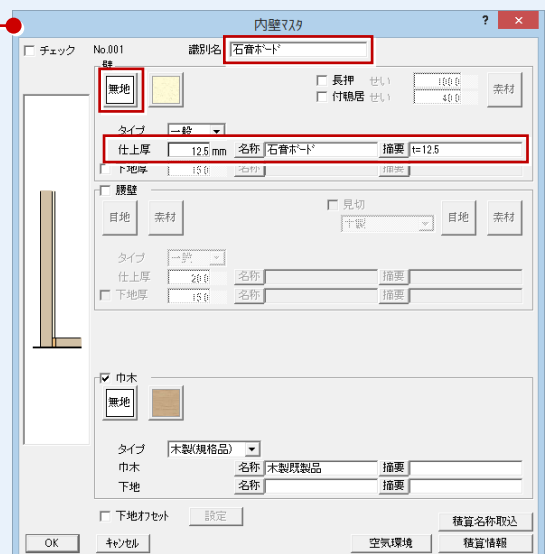
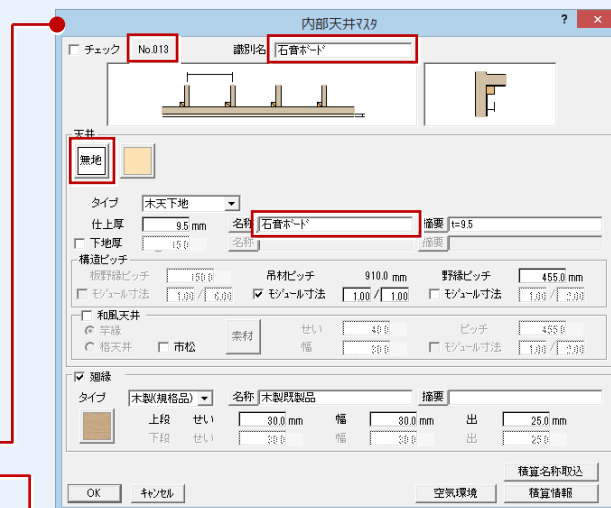
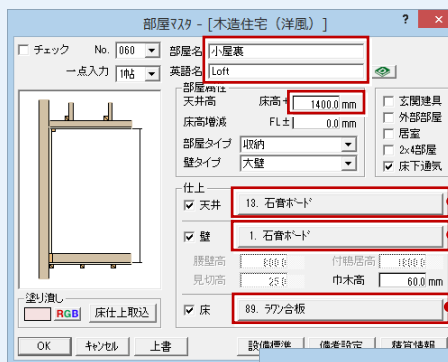


複製せずに新しい仕様を登録する

既存の部屋マスタを複製せずに、部屋マスター一覧から未登録欄を選んでも構いません。
その場合は、部屋名などが設定されていない新しい部屋マスタが開くので、各項目を入力して仕上マスタを設定します。

- 部屋仕様を変更する -

「部屋マスタを自社用に編集する」の洋室と同様な操作で、複製した「物入」を編集して、次のような「小屋裏」の仕様に変更します。



- マスタを保存する -

[部屋マスタ] ダイアログで [OK] をクリックして、[部屋マスタ選択] ダイアログに戻り、登録操作を終了します。

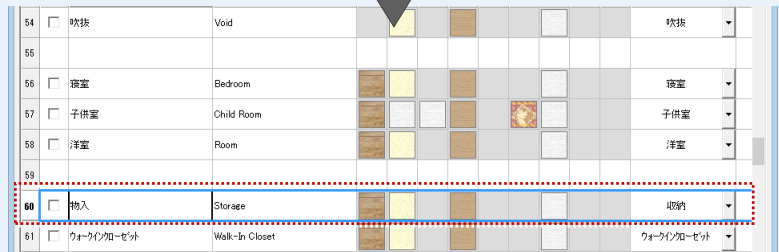
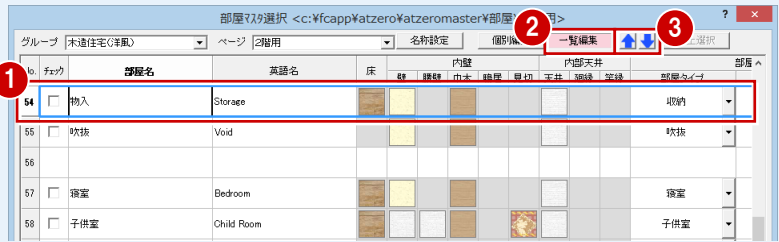
【補足】マスタ一覧の共通操作

－ マスタを移動する －

- 1 2 移動するマスタを選び、[一覧編集]をONにします。
- 3 [上移動][下移動]を使って行を入れ替えて、マスタを移動します。

マスタの一覧編集について

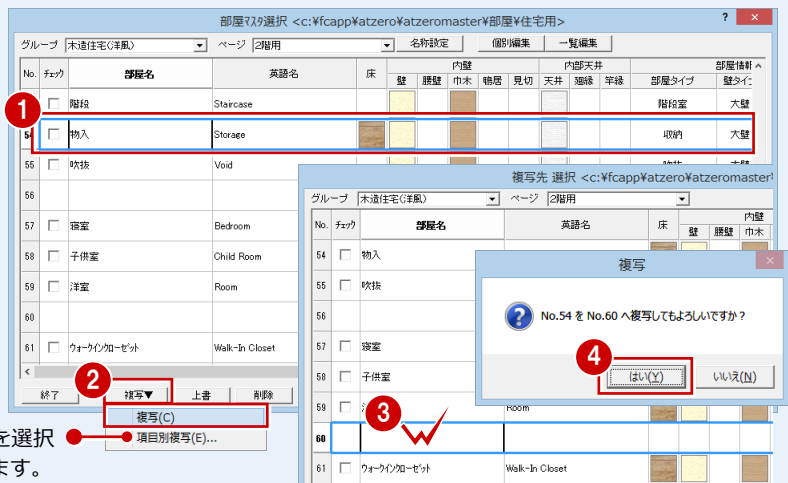
[一覧編集]がONの状態では、編集したいマスタをダブルクリックすると、一覧編集画面で名称や素材の変更ができます。



－ マスタを複写する －

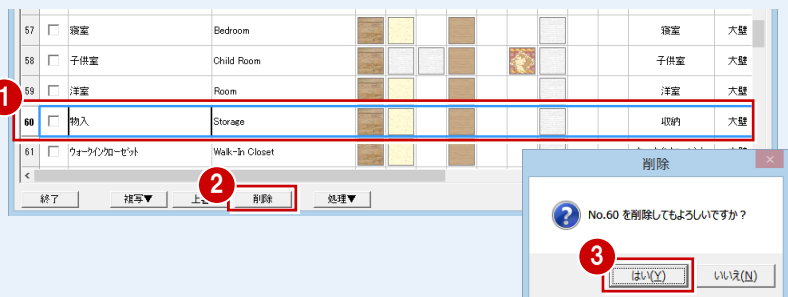
- 1 2 複写するマスタを選び [複写] メニューから [複写] を選びます。
- ※ ポップアップメニューの [複写] でも同様です。
- 3 [複写先 選択] ダイアログの一覧で複写先をダブルクリックします。
- 4 確認画面で [はい] をクリックします。

複写するマスタの情報を選択して、項目別複写(E)...



－ マスタを削除する －

- 1 2 削除するマスタを選び [削除] をクリックします。
- ※ ポップアップメニューの [削除] でも同様です。
- 3 削除の確認画面で [はい] をクリックします。



－ 処理メニュー －

Excel エクスポート・インポート	現在開いているマスタデータを Excel にエクスポートして、Excel 上で確認・編集できます。また、書き出した Excel データを ZERO にインポートした場合は、現在開いているマスタデータだけがインポートされます。
クリップボードにコピー	マスタの内容をクリップボードにコピーします (コンピュータ内部に一時保管します)。Excel などを起動して貼り付けます。
積算情報内容確認	積算情報を Excel に出力します。
チェック全クリア	すべてのチェックマークをクリアします。

【補足】仕上マスタの Excel エクスポート・インポート

ZERO の各種仕上マスタ（屋根・外部天井・外壁・内部天井・内壁・床）と外部標準マスタ、部屋マスタを Excel にエクスポートして、Excel 上で確認、編集できます。

また、エクスポートして編集した Excel ファイルを ZERO に取り込むことができます。

[処理選択] ダイアログの [マスタ専用] ページの [マスタの Excel エクスポート・インポート] から、[外装マスタ] を選んでエクスポートした場合は、「屋根・外部天井・外壁・外部標準」がエクスポートされます。

[内装マスタ] を選んでエクスポートした場合は、「内部天井・内壁・床・部屋」がエクスポートされます。

外部標準マスタ				屋根仕上											
No.	ID	識別名	ID	No.	識別名 (屋根仕上マスタヘッダ)	軒先形状	軒先厚	軒天形状	勾配	構造	構造高	せい	幅	デッキ高	ピッチ
1	8	平板瓦_サイディング横	9	10	平板瓦葺	直角	180.0	勾配	5.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
2	1	和瓦_サイディング横	4	9	和瓦葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
3	11	和瓦_漆喰	4	9	和瓦葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
4	25	和瓦_漆喰・杉板縦	4	9	和瓦葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
5	13	洋瓦_サイディング横	5	12	洋瓦葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
6	2	テコメカ瓦_シラス壁	22	13	テコメカ瓦葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
7	4	テコメカ瓦_シラス壁・タイル	22	13	テコメカ瓦葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
8	23	洋瓦_サイディング横	5	12	洋瓦葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
9	17	立平葺_サイディング横	10	6	ガルバリウム鋼板立平葺	直角	150.0	勾配	2.50	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
10	6	立平葺_サイディング縦	10	6	ガルバリウム鋼板立平葺	直角	150.0	勾配	2.50	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
11	16	横葺_サイディング縦	10	6	ガルバリウム鋼板立平葺	直角	180.0	勾配	5.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
12	10	立平葺_ガルバリウム鋼板	10	6	ガルバリウム鋼板立平葺	直角	180.0	勾配	5.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
13	18	平葺_サイディング横	1	3	ガルバリウム鋼板平葺	直角	180.0	勾配	2.50	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
14	4	横葺_サイディング横	2	4	ガルバリウム鋼板横葺	直角	180.0	勾配	2.50	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
15	5	瓦葺_サイディング横	7	5	ガルバリウム鋼板瓦葺	直角	180.0	勾配	3.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	364.0
16	7	瓦葺_サイディング横	7	5	ガルバリウム鋼板瓦葺	直角	180.0	勾配	3.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	364.0
17	19	平葺_サイディング横	6	1	工口葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
18	3	工口葺_サイディング横	6	1	工口葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
19	21	立平葺_壁鋼板(外断熱)	10	6	ガルバリウム鋼板立平葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
20	9	立平葺_壁鋼板(外断熱)	10	6	ガルバリウム鋼板立平葺	直角	180.0	勾配	4.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
21	22	平板瓦_水平_サイディング横	9	10	平板瓦葺	鉛直	180.0	水平	5.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0
22	20	平板瓦_水平_サイディング横	9	10	平板瓦葺	鉛直	180.0	水平	5.00	木	0.0	60.0	45.0	10.0	455.0

詳しくは概要を参照してください。

白色のセルのみ編集します。

また、[マスタの Excel エクスポート・インポート] からインポートした場合は、指定したファイルに存在するマスタを指定してインポートできます。複数のマスタを一度にインポートできます。

インポートするマスタにチェックを付ける

2 外部標準マスタを自社用に編集する

自社用の外部仕様を作成する手順には、標準で用意されている外部標準マスタを編集する方法と、新しく外部標準マスタを登録する方法があります。ここでは、標準で用意されている外部標準マスタを編集する方法を解説します。
 なお、標準のマスタを変更して上書きしてしまうため、元のマスタはなくなります。元のマスタを残して、新しく外部標準マスタを登録する方法については、P.8を参照してください。

外部標準マスタと図面の関係

外壁仕上マスタ、屋根仕上マスタ、外部天井仕上マスタを含めた外部マスタと作成する図面の関係を見てみましょう。

外部標準マスタ

外部標準マスタの編集画面。屋根は「10. 平板瓦葺」、軒天は「1. 軒天ホード」、外壁(1階以外)は「1. サイディング横張り」、外壁(1階)は「1. サイディング横張り」、アクセント壁は「2. サイディング縦張り」。

物件初期設定

物件初期設定画面の「外部標準」タブ。屋根は「1. 平板瓦葺」、軒天は「1. 軒天ホード」、外壁(1階以外)は「1. サイディング横張り」、外壁(1階)は「1. サイディング横張り」、アクセント壁は「1. サイディング縦張り」。

屋根仕上マスタ

屋根仕上マスタの編集画面。タイプは「平板瓦」、仕上厚は「20.0 mm」、下地厚は「20.0 mm」。

外部天井仕上マスタ

外部天井仕上マスタの編集画面。タイプは「木天板」、仕上厚は「0.0 mm」、下地厚は「20.0 mm」。

外壁仕上マスタ

外壁仕上マスタの編集画面。タイプは「サイディング横張り」、仕上厚は「20.0 mm」、下地厚は「10.0 mm」。

平面図

平面図の「外壁仕上」領域。

屋根伏図

屋根伏図の「屋根データ」領域。

天井伏図

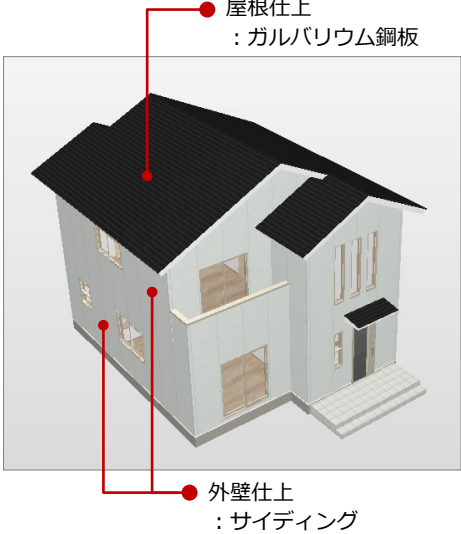
天井伏図の「外部天井仕上」領域。

3Dモデル

3Dモデルの各部分にマスタが適用されている様子。屋根仕上、軒先形状・軒天形状、外壁仕上(1階以外)、外壁仕上(1階)(腰壁、見切、水切も含む)、巾木、外部天井仕上。

マスタの識別名を変更する

標準で用意されている外部標準マスタ「平葺_サイディング横」を編集して、自社用の外部仕様（次の仕様）に変更してみましょう。



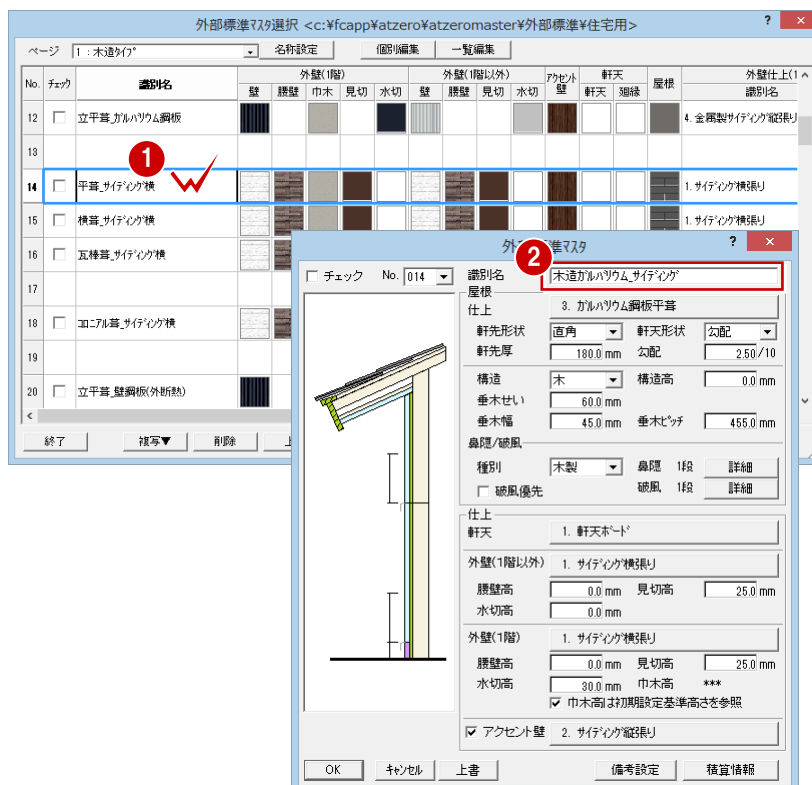
● 屋根仕上
: ガルバリウム鋼板

● 外壁仕上
: サイディング

■ 自社用の外部仕様「木造ガルバリウム_サイディング」

マスタ	名称	仕様
外壁仕上	サイディング	壁 仕上: サイディング (塗装品) 素材: リシン4 巾木 : モルタル刷毛引き
屋根仕上	ガルバリウム鋼板	屋根仕上: ガルバリウム鋼板 下地: アスファルトルーフィング 素材: 金属屋根 101
軒天仕上	軒天井ボード	天井仕上: EP 塗装 下地: 防火軒天井ボード 廻縁 : 伏図表現用

- ① [外部標準マスタ選択] ダイアログの一覧で、No.14の「平葺_サイディング横」をダブルクリックします。
- ② [外部標準マスタ] ダイアログの[識別名]を「木造ガルバリウム_サイディング」に変更します。



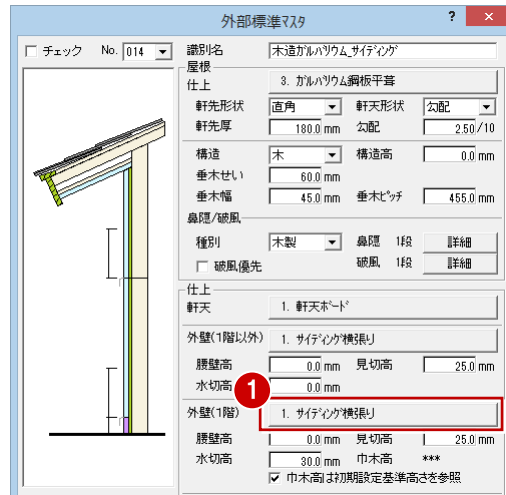
The screenshot shows two overlapping dialog boxes from a software application. The background dialog, titled '外部標準マスタ選択', displays a list of master items. Item No. 14, '平葺_サイディング横', is highlighted with a red box and a red circle containing the number 1. The foreground dialog, titled '外部標準マスタ', shows the editing screen for this item. The '識別名' (Identification Name) field is highlighted with a red box and a red circle containing the number 2, and its value is '木造ガルバリウム_サイディング'. The dialog also shows various technical specifications for the roof and exterior finishes.

外壁仕上を変更する

ここでは、標準で用意されてマスタ「サイディング横張り」を編集して「サイディング」を登録してみましょう。

※ 仕上マスタを上書きするため、既存の「サイディング横張り」はなくなります。

1 [外壁仕上 (1 階)] の「サイディング横張り」をクリックします。



2, 3 [外壁仕上マスタ選択] ダイアログにて、外部標準マスタで使用する外壁仕上マスタを選びます。

ここでは、No.1 の「サイディング横張り」が選択されていることを確認して、[マスタ編集] をクリックします。



4, 5 [外壁マスタ] ダイアログにて、自社の外壁仕上を設定します。

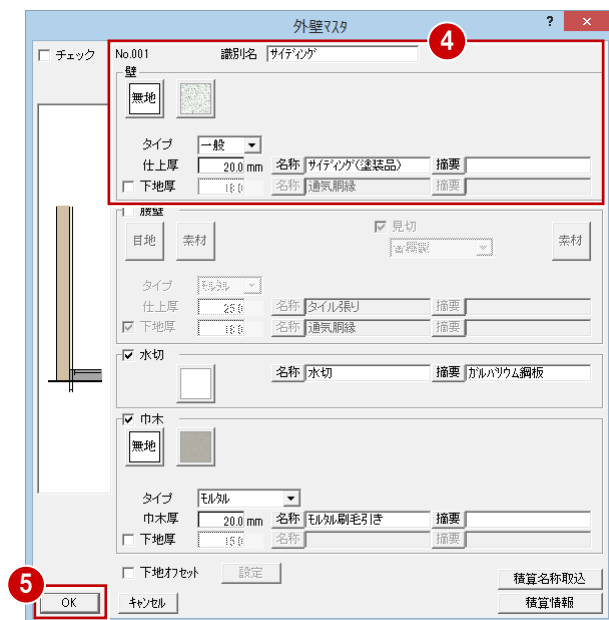
ここでは、次のように各項目を変更して [OK] をクリックします。

- [識別名] : サイディング
- [目地] : 無地
- [素材] : 「リシン 4」
- [仕上厚] : 20
名称 : サイディング (塗装品)
摘要 : 空欄
- [下地厚] : OFF

⇒ 素材の変更については、P.7 参照

6 [外壁仕上マスタ選択] ダイアログで、[選択] をクリックします。

[外部標準マスタ] ダイアログで外壁仕上「サイディング」が割り当てられます。



1 階以外は違う外壁仕上を使用する場合

同様な操作で [外壁仕上 (1 階以外)] の [仕上] をクリックして、仕上を設定します。



1 階と同じ仕上りが割り当てられている場合は、[外部標準マスタ] ダイアログを一旦閉じて再度開くと、外壁仕上 (1 階以外) の仕上も変更されます。

屋根仕上を変更する

ここでは、標準で用意されているマスタ「ガルバリウム鋼板平葺」を編集して「ガルバリウム鋼板」を登録してみましょう。

※ 仕上マスタを上書きするため、既存の「ガルバリウム鋼板平葺」はなくなります。

① [屋根] の [仕上] の「ガルバリウム鋼板平葺」をクリックします。

②③ [屋根仕上マスタ選択] ダイアログにて、外部標準マスタで使用する屋根仕上マスタを選びます。

ここでは、No.3の「ガルバリウム鋼板平葺」が選択されていることを確認して、[マスタ編集] をクリックします。

④⑤ [屋根マスタ] ダイアログにて、自社用の屋根仕上を設定します。

ここでは、次のように各項目を変更して [OK] をクリックします。

[識別名] : ガルバリウム鋼板

[素材] : 「金属屋根 101」

[仕上厚] : 20

名称 : ガルバリウム鋼板

[下地厚] : 20

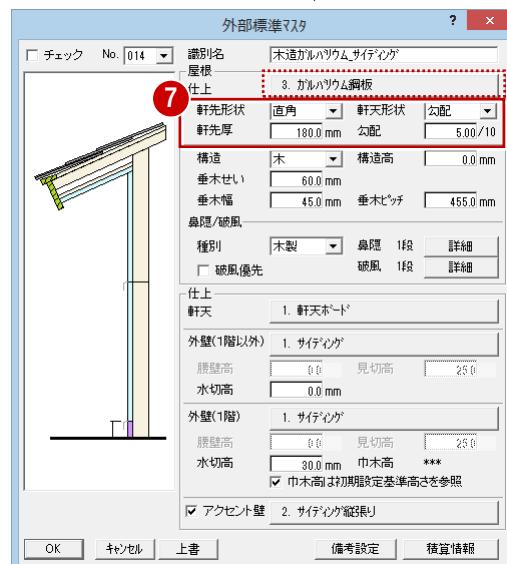
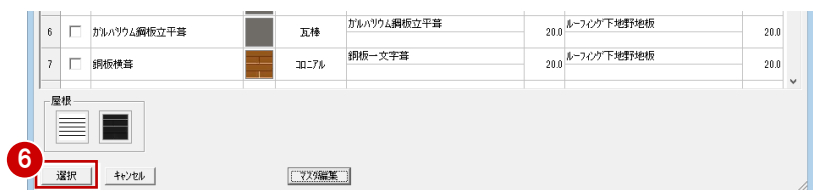
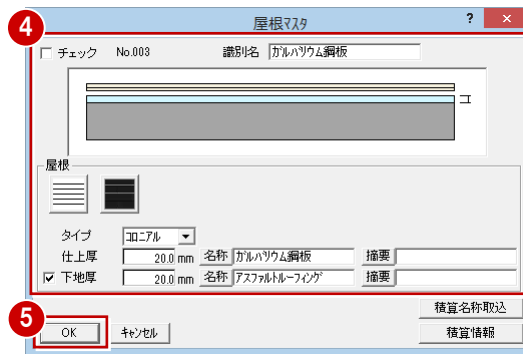
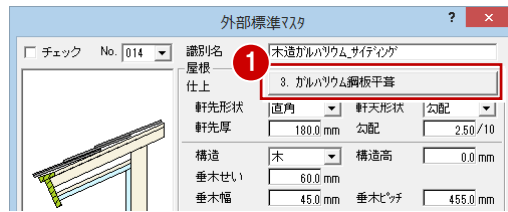
名称 : アスファルトルーフィング

⑥ [屋根仕上マスタ選択] ダイアログで、[選択] をクリックします。

[外部標準マスタ] ダイアログで屋根仕上「ガルバリウム鋼板」が割り当てられます。

⑦ [外部標準マスタ] ダイアログで、屋根の形状を次のように設定します。

- ・ [軒先形状] : 直角
- ・ [軒天形状] : 勾配
- ・ [勾配] : 5



軒天仕上を変更する

ここでは、標準で用意されているマスタ「軒天ボード」を編集して「軒天井ボード」を登録してみましよう。

※ 仕上マスタを上書きするため、既存の「軒天ボード」はなくなります。

1 [仕上] の [軒天] の「軒天ボード」をクリックします。

2 3 [外部天井仕上マスタ選択] ダイアログにて、外部標準マスタで使用する軒天仕上マスタを選びます。

ここでは、No.1の「軒天ボード」が選択されていることを確認して、[マスタ編集] をクリックします。

4 5 [外部天井マスタ] ダイアログにて、自社の軒天仕上を設定します。

ここでは、次のように各項目を変更して、[OK] をクリックします。

[識別名]：軒天井ボード

[下地厚]：20

名称：防火軒天井ボード

[廻縁] 名称：伏図表現用

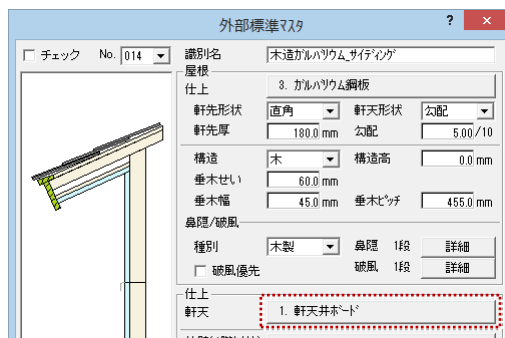
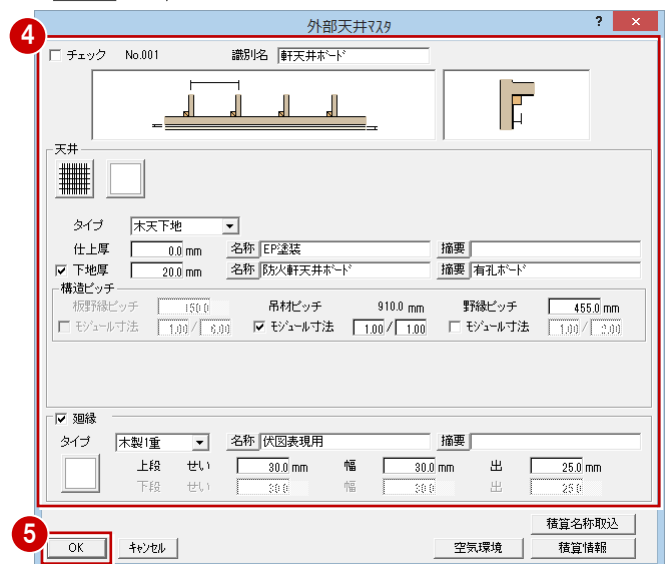
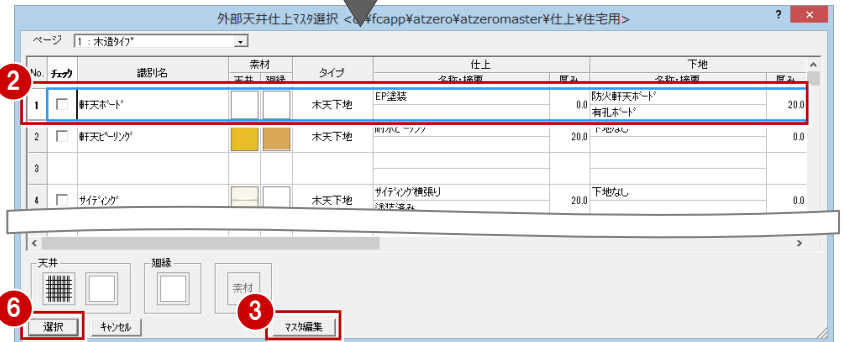
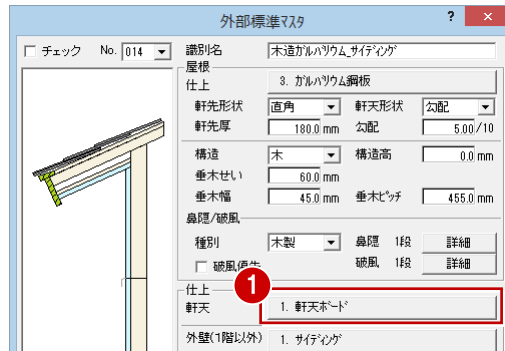
6 [外部天井仕上マスタ選択] ダイアログで、[選択] をクリックします。

[外部標準マスタ] ダイアログで軒天仕上「軒天井ボード」が割り当てられます。

7 [外部標準マスタ] ダイアログで [OK] をクリックして、[外部標準マスタ選択] ダイアログに戻ります。

8 [外部標準マスタ選択] ダイアログで、[終了] をクリックします。

9 保存の確認画面で [はい] をクリックすると、No.14の外部標準マスタが、設定した内容で上書き保存されます。



3 自社用の物件マスタ、専用マスタの作成

ZERO では、建物の仕様をマスタ（ひな型）に登録できます。このマスタを「物件マスタ」といい、新規に物件を入力する際は、建物の仕様にあった物件マスタを選ぶことで、効率的にデータを入力できます。

また、物件マスタには建物の仕様に合った図面の入力・作成条件をセットできます。この作図条件に登録したマスタを「専用マスタ」といい、物件マスタにあった専用マスタを組み合わせることで、効率的に各図面を作成できます。

ここでは、標準マスタを利用して自社用の物件マスタと専用マスタを作成してみましょう。

物件マスタと専用マスタの関係

「物件マスタ」（建物の仕様）は [物件初期設定] で、「専用マスタ」（図面の入力・作成条件）は各図面の [専用初期設定] で確認・編集します。

物件マスタ		専用マスタ	
01 仕様A シンプルモダン風		物件初期設定 木造 2階建 管柱サイズ：105 通し柱サイズ：120 ▼外観イメージ 屋根：コロニアル葺 外装：ガルバリウム鋼板	専用マスタ 専用初期設定 シンプルモダン用 ポーチ2段：200 角タイル バルコニー手摺：壁手摺 屋根：軒の出 200 軸組計算：屋根軽い
02 仕様B プロバンス風		物件初期設定 2×4 2階建 壁厚：89 ▼外観イメージ 屋根：洋風瓦 外装：スタッコ仕上	専用マスタ 専用初期設定 プロバンス用 ポーチ2段：300 角タイル バルコニー手摺：手摺棧 屋根：軒の出 450 軸組計算：屋根重い
03 RCマンション用		物件初期設定 RC造 4階建 RC柱サイズ：750×750 RC壁厚：150 LGS壁厚：65 ▼外観イメージ 屋根：アスファルト防水 外装：タイル貼り	専用マスタ 専用初期設定 RCマンション用 ポーチ2段：300 角タイル バルコニー手摺：手摺子ピッチ 600 屋根：陸 図枠：A1 タイプ
04 店舗兼住宅用		物件初期設定 S造 2階建 角型鋼管サイズ：250×250 ALC壁厚：100 鉄骨鋼縁厚：100 ▼外観イメージ 屋根：折版屋根 外装：ALC縦貼り	専用マスタ 専用初期設定 店舗兼住宅用 ポーチ1段：150 角タイル バルコニー手摺：壁手摺 屋根：陸 図枠：A2 タイプ

物件初期設定を変更する

物件の高さ、外部標準、柱サイズなどの物件仕様は物件初期設定で設定します。

そのため、作成するたびに物件に合わせて物件初期設定を変更する必要があります。しかし、この設定内容を物件マスタに書き込んでおき、新規作成時に登録したマスタを選択することで、設定内容が読み込まれ、再度物件初期設定を変更する手間を省くことができます。

ここでは、右図の物件仕様となるように物件初期設定を変更してみましょう。

■ 物件仕様

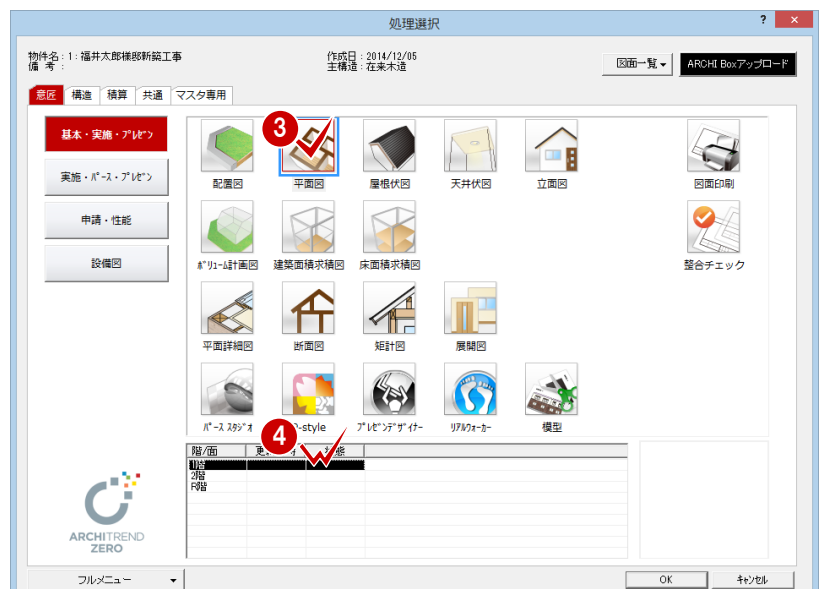
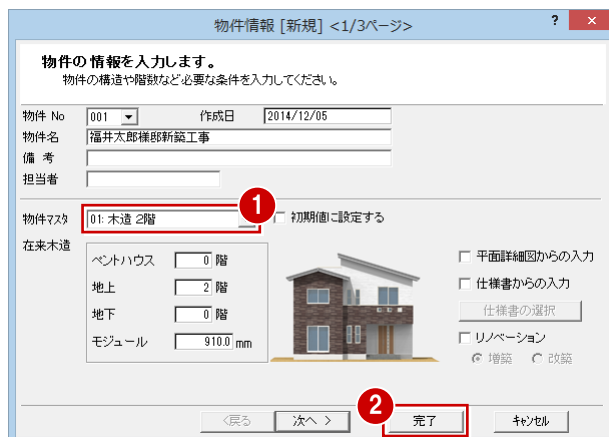
階数	: 地上 2 階	グリッド間隔	: 910 mm
基礎高	: GL±400 mm	外部標準	: 木造ガルバリウム鋼板
基礎パッキン厚	: 20 mm	木柱サイズ	: 105 mm
土台せい	: 105 mm		
軒高	: 1F・2F 3000 mm		
床厚	: 1F 75 mm 2F 30 mm		
窓高	: 1F・2F 2000 mm		

まず、新規物件を作成します。

物件マスタ「01：木造 2 階」を利用して、自社用の仕様を作成してみましょう。

※ このとき、今から作成する物件マスタと仕様に近いものを選ぶとよいでしょう。

①～④ 物件マスタ「01：木造 2 階」を使った物件を新規作成し、1 階平面図を開きます。



自社マスタ作成編

次に、物件初期設定を開きます。
基準高さ情報を設定しましょう。

5 [設定] をクリックします。

6,7 [物件初期設定] をクリックして、ツリーから「基準高さ情報」を選びます。

8 自社物件の仕様に合わせて、高さ情報を設定します。

[階数] : 地上 2 階

[土台せい] : 105 mm

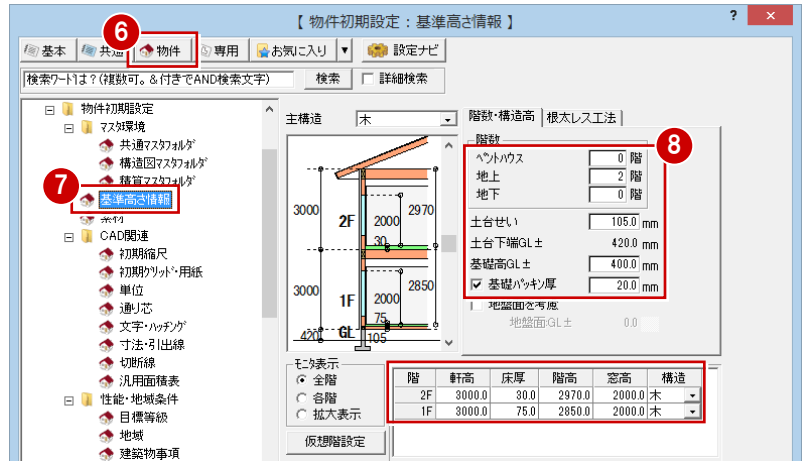
[基礎高] : GL±400 mm

[基礎パッキン厚] : 20 mm

[軒高] : 1F・2F 3000 mm

[床厚] : 1F 75 mm 2F 30 mm

[窓高] : 1F・2F 2000 mm



グリッド (基本モジュール) を設定します。

9 ツリーから「CAD 関連」の「初期グリッド・用紙」を選びます。

10 自社仕様にあわせて、グリッド間隔を設定します。

[間隔 X] : 910 mm

[間隔 Y] : 910 mm

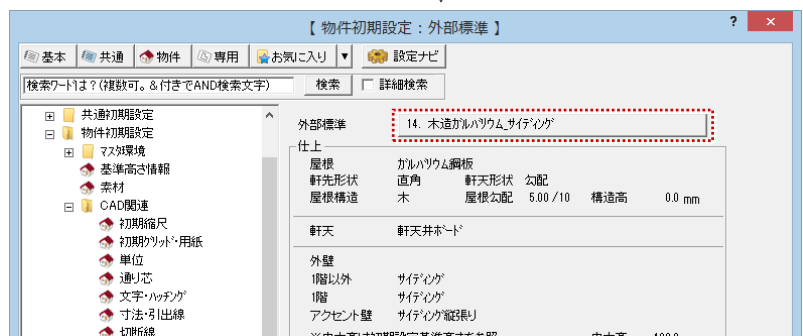
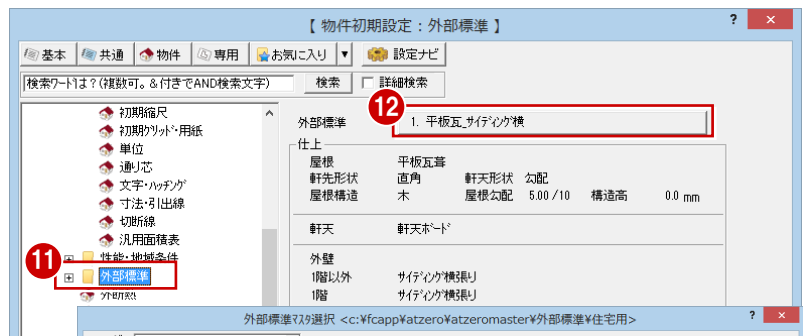


外部標準マスタを設定します。

11 ツリーからの「外部標準」を選びます。

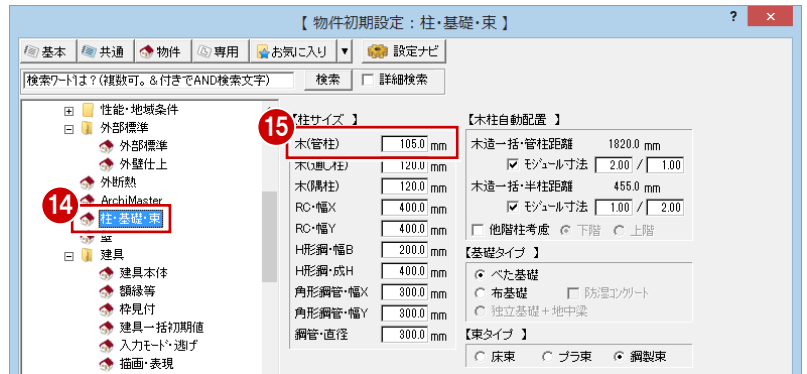
12,13 「1.平板瓦_サイディング横」をクリックして、[外部標準マスタ選択] ダイアログから、自社物件で使用使用する外部標準マスタを選びます。

ここでは、自社用に作成した No.14 の「木造ガルバリウム_サイディング」をダブルクリックして選択します。



柱サイズを設定します。

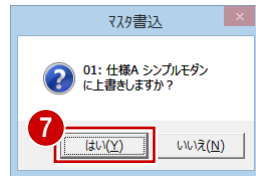
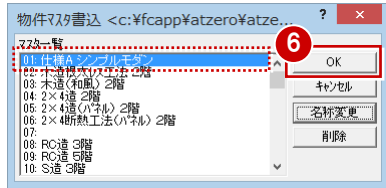
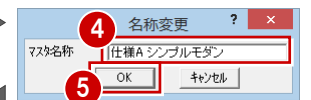
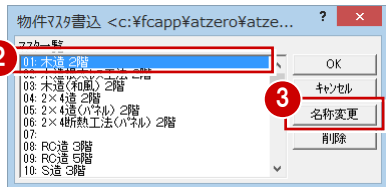
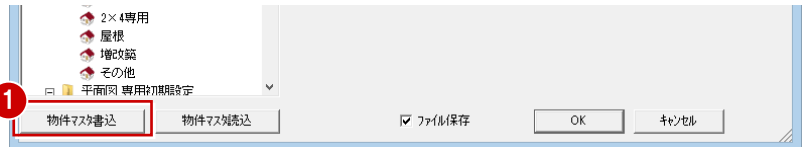
- 14 ツリーから「柱・基礎・束」を選びます。
- 15 自社仕様の柱のサイズを設定します。
[木(管柱)] : 105 mm



物件マスタに書き込む

物件初期設定の内容（自社仕様）を物件マスタに書き込みます。
ここでは、既存の「01：木造 2階」に上書きします。

- 1 [物件マスタ書込] をクリックします。
- 2,3 [物件マスタ書込] ダイアログの [マスター一覧] で、自社用の設定を書き込む物件マスタを選びます。
ここでは、「01：木造 2階」が選択されていることを確認して、[名称変更] をクリックします。
- 4,5 マスタ名称を「仕様 A シンプルモダン」に変更して、[OK] をクリックします。
- 6 [物件マスタ書込] ダイアログで、[OK] をクリックします。
- 7 確認画面で [はい] をクリックすると、自社用の物件マスタが書き込まれます。
- 8,9 [設定] ダイアログで、[ファイル保存] にチェックが付いていることを確認して、[OK] をクリックします。



登録した物件マスタを使用するには

登録した物件マスタを使用するには、新規物件作成時に、[物件情報 [新規]] ダイアログで自社用の物件マスタを選びます。



平面図 専用初期設定を変更する

各図面の専用初期設定は、専用マスタで管理されています。

自社用のマスタを作成する場合は、物件マスタの他に専用初期設定も自社用に変更して専用マスタに書き込んでおき、使用する物件マスタに割り当てておきます。新規物件作成時に選択した物件マスタから割り当てられた専用マスタが読み込まれて、再度専用初期設定を変更する手間を省くことができます。ここでは、平面図 専用初期設定を変更し、自社用の専用マスタを作成しましょう。

まず、平面図を開いて、部屋面積表の表記を変更します。

① [設定] をクリックします。

②③ [専用初期設定] をクリックして、ツリーから「面積表」の「部屋面積表」を選びます。

④ 図面に表記される部屋面積の単位を設定します。

[表記法・部屋] : 帖

内部手摺の初期値を変更します。

⑤ ツリーから「内部シンボル」の「内部手摺」を選びます。

⑥⑦ 手摺のタイプと高さ等を設定します。

[タイプ] : No.2 「手摺壁」

[壁高] : 1000 mm

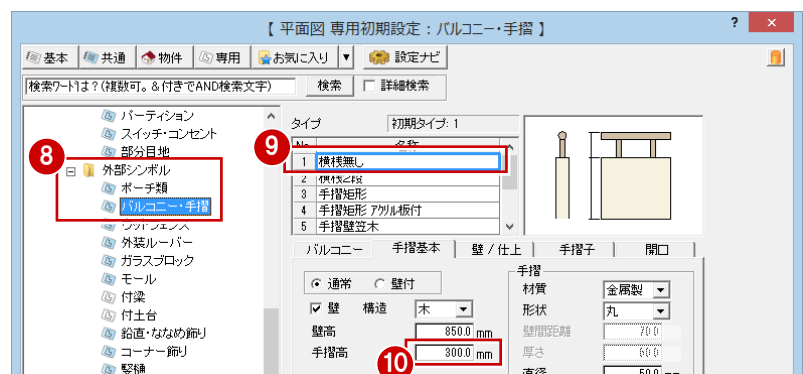
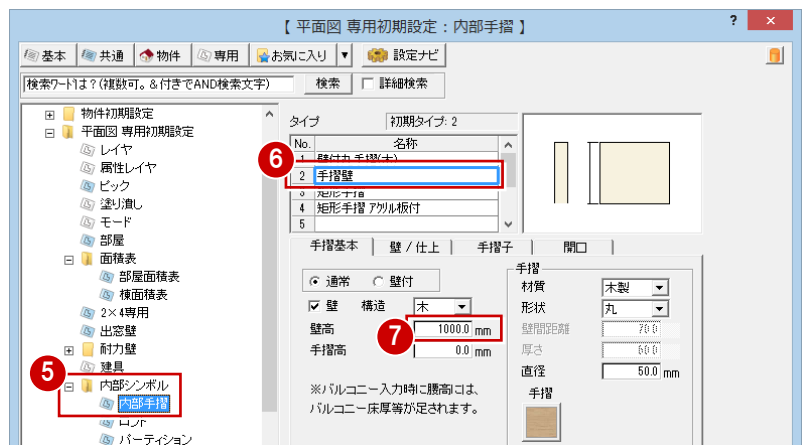
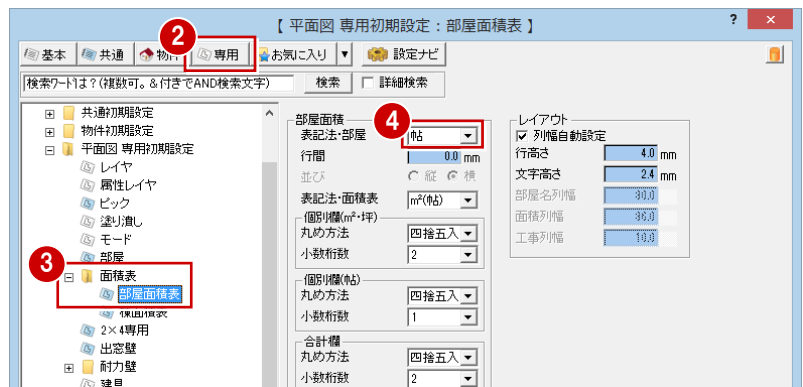
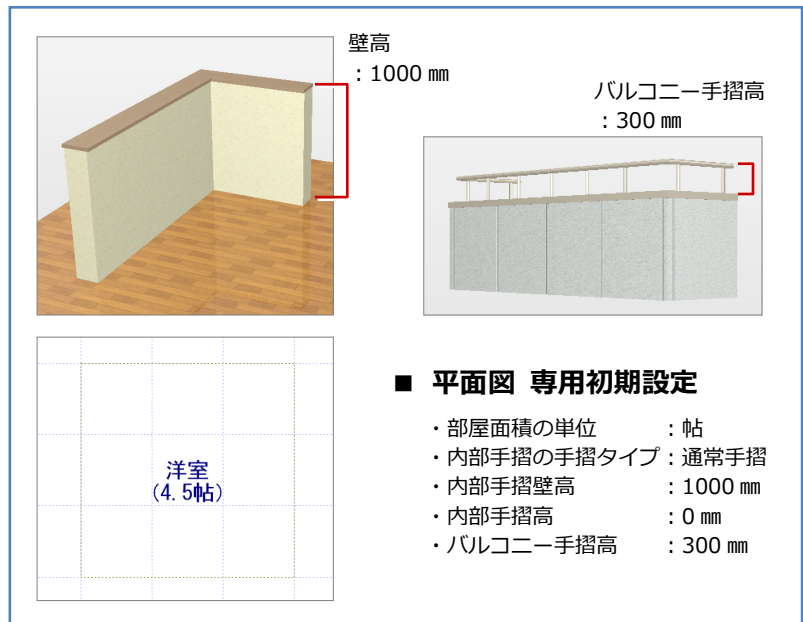
バルコニー手摺の初期値を変更します。

⑧ ツリーから「外部シンボル」の「バルコニー・手摺」を選びます。

⑨⑩ 手摺のタイプと高さ等を設定します。

[タイプ] : No. 1 「横棧無し」

[手摺高] : 300 mm

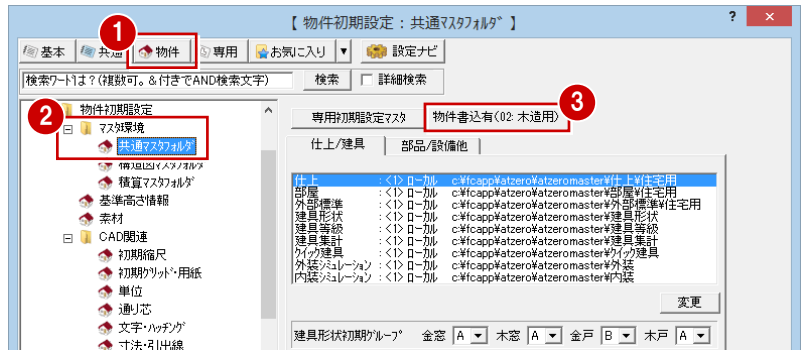


平面図 専用マスタに書き込む

変更内容を物件マスタに割り当てられている専用マスタに書き込み保存しましょう。

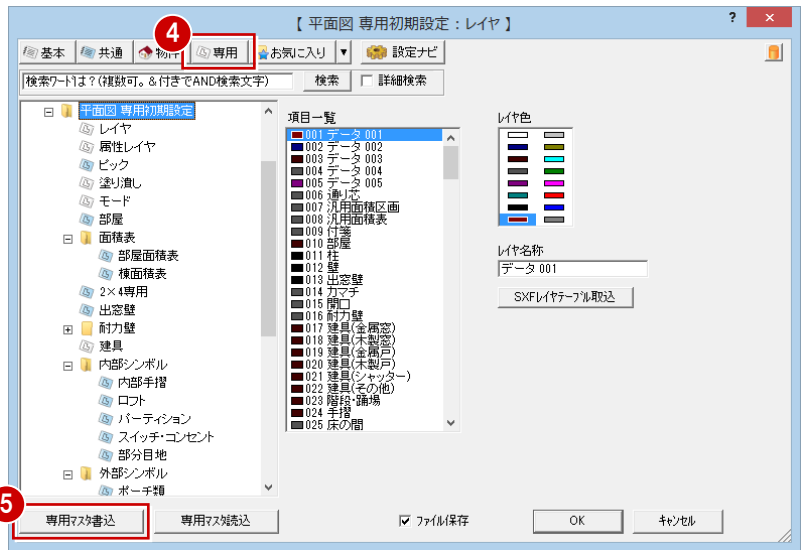
まず、物件マスタに割り当てられている専用マスタを確認します。

- 1,2 [物件初期設定] をクリックし、ツリーから「マスタ環境」の「共通マスタフォルダ」を選びます。
- 3 割り当てられている専用マスタ(ここでは「02: 木造用」)を確認します。

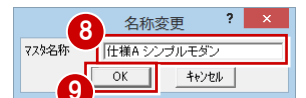


次に、専用マスタに書き込みます。

- 4,5 [専用初期設定] をクリックして、[専用マスタ書込] をクリックします。
- 6,7 [マスター一覧] で、自社用の設定を書き込む専用マスタ(ここでは「02: 木造用」)を選び、[名称変更] をクリックします。
- 8,9 マスタ名称を「仕様 A シンプルモダン」に変更して [OK] をクリックします。
- 10 [専用マスタ書込 [平面図]] ダイアログで、[OK] をクリックします。

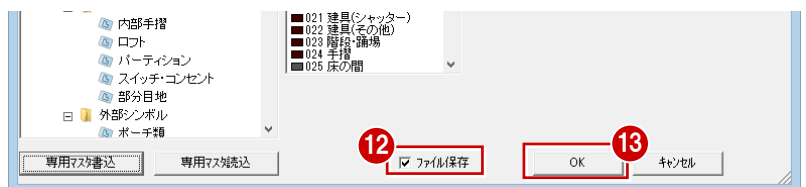
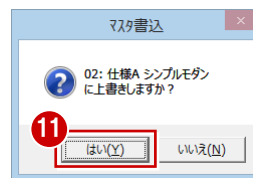


- 11 確認画面で [はい] をクリックします。自社用の専用マスタが書き込まれます。
- 12,13 [設定] ダイアログで、[ファイル保存] にチェックが付いていることを確認して、[OK] をクリックします。



※ 仕様ごとに専用マスタを登録したい場合は、マスタの登録場所を変更して書き込みましょう。

※ ここでは平面図だけを解説していますが、同様に屋根伏図などの他図面の専用初期設定も変更し、同じ専用マスタに書き込みます。



【補足】専用マスタを物件マスタに割り当てるには

ここでは、自社用の設定を書き込んだ専用マスタを、使用する物件マスタに割り当てる手順を解説します。

1 2 [物件初期設定] をクリックして、ツリーから「マスタ環境」の「共通マスタフォルダ」を選びます。

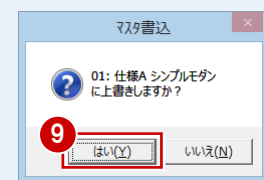
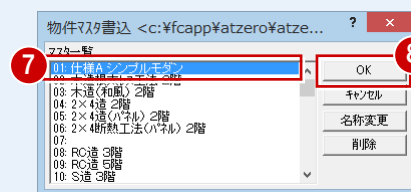
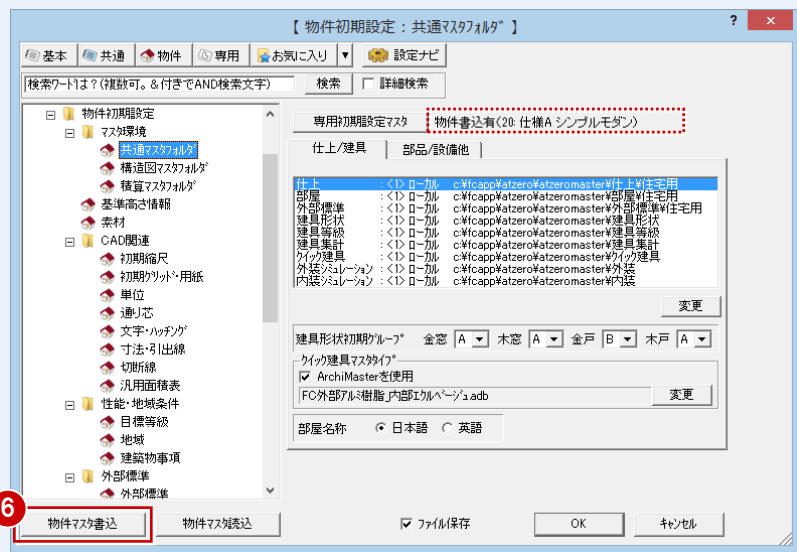
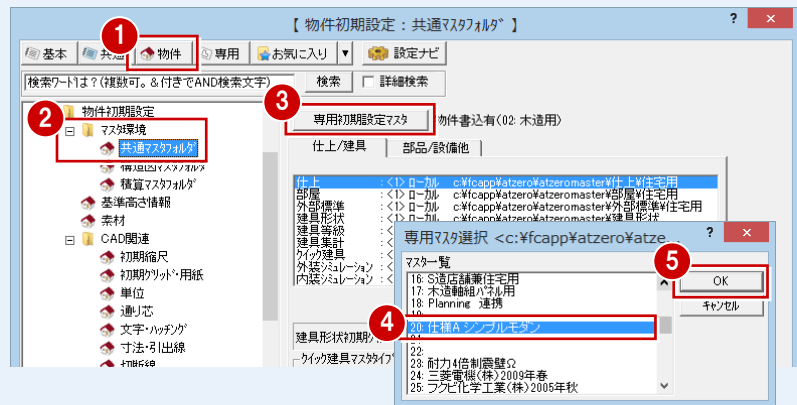
3 [専用初期設定マスタ] をクリックします。

4 5 [専用マスタ選択] ダイアログの [マスタ一覧] から、自社用に作成したマスタを選んで [OK] をクリックします。

6 [物件マスタ書込] をクリックします。

7 8 [物件マスタ書込] ダイアログの [マスタ一覧] で、自社用の設定を書き込む物件マスタを選んで、[OK] をクリックします。

9 マスタ書込の確認画面で [はい] をクリックすると、自社用の専用マスタが割り当てられた物件マスタが上書きされます。



4 マスタのバックアップ・リストア

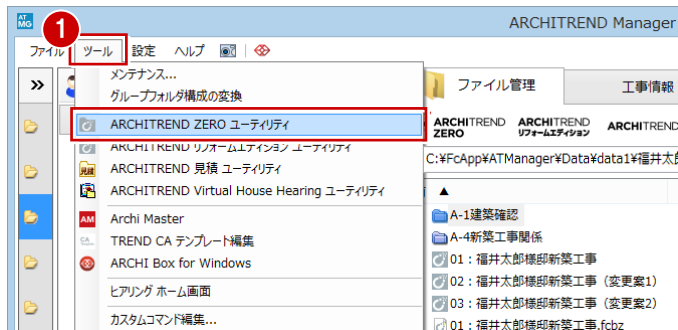
ZERO の物件マスタ・部屋マスタなど各種マスタのバックアップ・リストアは、ARCHITREND ZERO ユーティリティ（以降「ユーティリティ」）で行います。

※ Archi Master の素材・部品・建具データなどのバックアップ・リストアは、Archi Master の [メンテナンス] で行います。操作方法については、ヘルプを参照してください。

ユーティリティを起動する

ユーティリティは、ZERO と同時に起動できません。ZERO を終了してからユーティリティを起動してください。

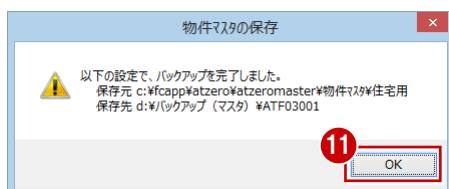
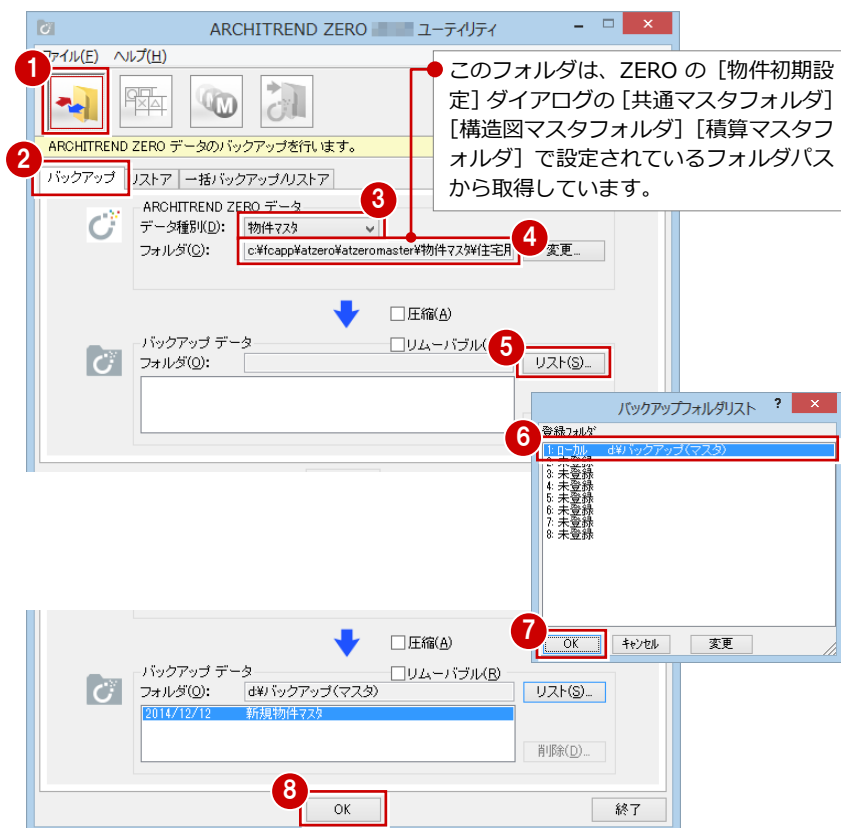
- 1 マネージャーの [ツール] メニューから [ARCHITREND ZERO ユーティリティ] を選びます。



マスタをバックアップする

ここでは、「物件マスタ」をバックアップする手順を解説します。

- 1～3 [バックアップ/リストア] の [バックアップ] タブをクリックし、[データ種別] でマスタを選びます。ここでは、「物件マスタ」を選びます。
- 4 [ARCHITREND ZERO データ] の [フォルダ] でマスタフォルダを確認します。
- 5～7 [バックアップデータ] の [リスト] をクリックして、バックアップ先のフォルダを設定します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 確認画面でマスタを確認し、[備考] を入力します。
- 10 [実行] をクリックすると、処理が始まります。
- 11 完了の確認画面で [OK] をクリックします。続けて、他のマスタをバックアップしましょう。



● [備考] はバックアップデータの名称となり、リストア時にこの名称が表示されます。初期値は「備考」がセットされていますが、識別できるように「物件マスタ (住宅用)」というように名称を変更しておくといよいでしょう。

マスタをリストアする

ローカルディスクにあるマスタのバックアップデータをリストアする手順を解説します。ここでは、物件マスタで解説します。

- ①～③ [バックアップ/リストア] の [リストア] タブをクリックし、[データ種別] を「物件マスタ」に変更します。
- ④ [ARCHITREND ZERO データ] の [フォルダ] でマスタフォルダを確認します。
- ⑤～⑦ [バックアップデータ] の [リスト] をクリックして、バックアップデータが保存されているフォルダを設定します。
- ⑧⑨ 一覧から、リストアするマスタを選び、[OK] をクリックします。
- ⑩ 確認画面でマスタを確認して、[実行] をクリックします。

すでにリストア先にマスタデータが存在する場合は、既存マスタ削除の確認画面が表示されます。既存のマスタを確認してから処理してください。

- ⑪ 既存のマスタデータを削除するときは、[はい] をクリックします。処理が始まります。

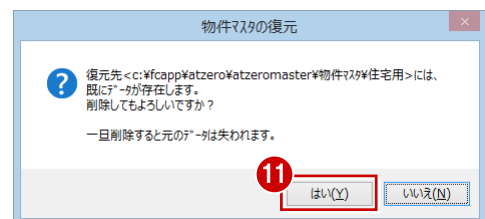
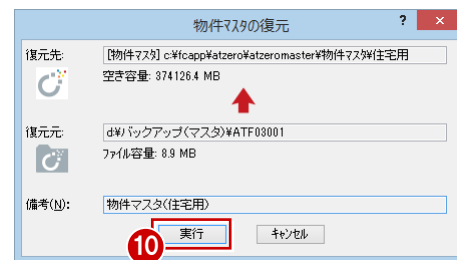
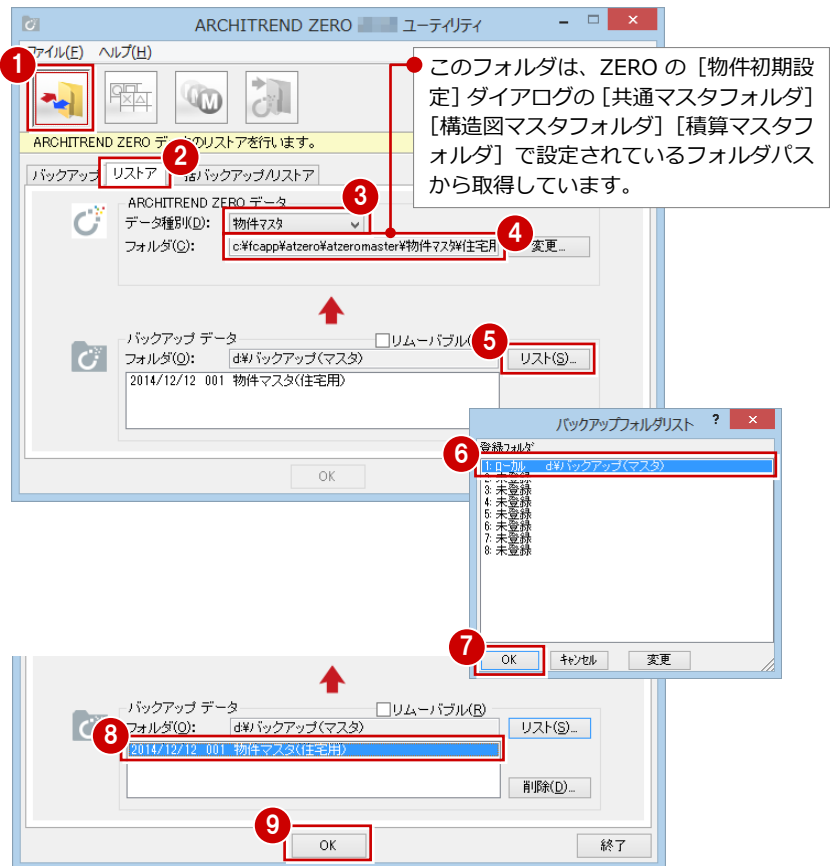
バックアップデータについて

マスタのバックアップデータは、指定した保存先に作成される「¥ATF????」というフォルダに保存されます。これはプログラム固定のフォルダ名であるため変更できません。エクスプローラ等でフォルダ名を変更すると、リストアできなくなりますのでご注意ください。

一括バックアップ・リストアについて

すべての ZERO マスタをまとめてバックアップまたはリストアする場合は、[一括バックアップ/リストア] から行います。

詳しい操作方法については、ヘルプを参照してください。



5

マスタ設定

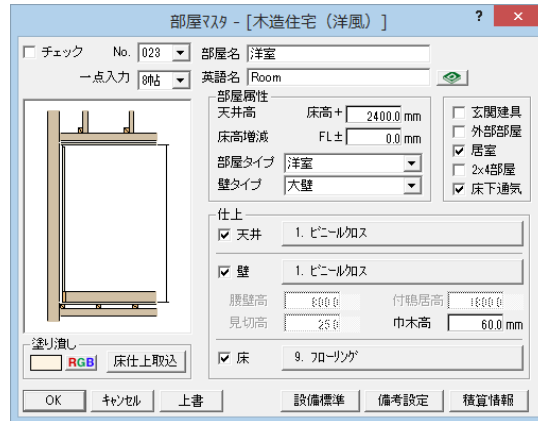
部屋に関する [部屋マスタ]、[内壁仕上マスタ]、[床仕上マスタ]、[内部天井仕上マスタ] と、建物外部に関する [外部標準マスタ]、[外壁仕上マスタ]、[屋根仕上マスタ]、[外部天井仕上マスタ] の設定項目について解説します。

部屋マスタ

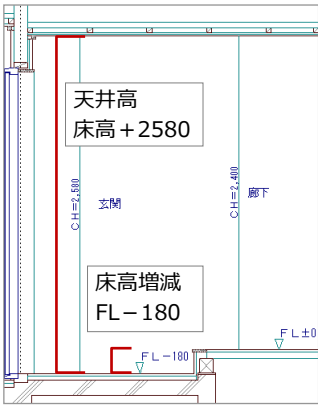
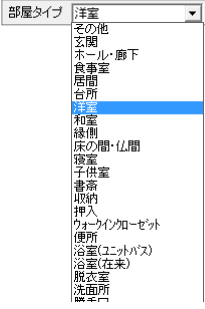





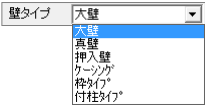
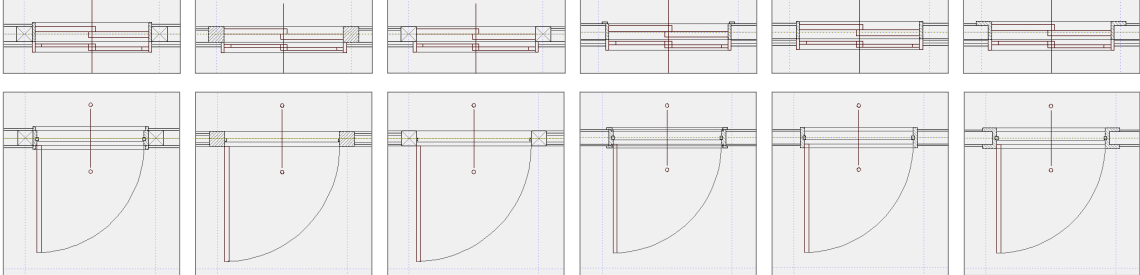
部屋マスタは、平面図で入力する部屋データの初期値になります。

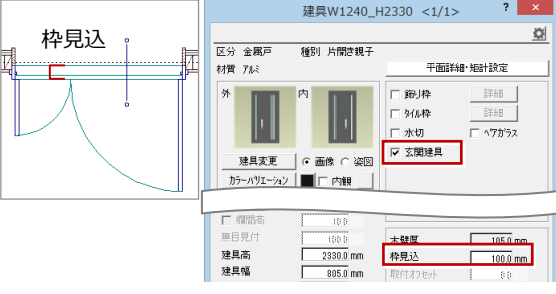
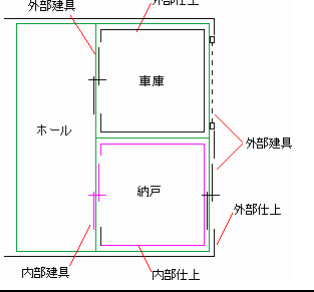
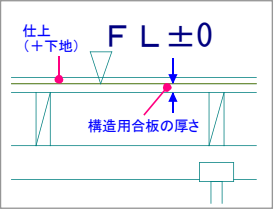
部屋入力後は、属性変更で部屋仕様を変更できます。この部屋に設定されている仕上を見て、平面図で壁仕上・床仕上、天井伏図で天井仕上が自動作成されます。

登録できる数
10 グループ×100 種=1000 種の登録が可能。

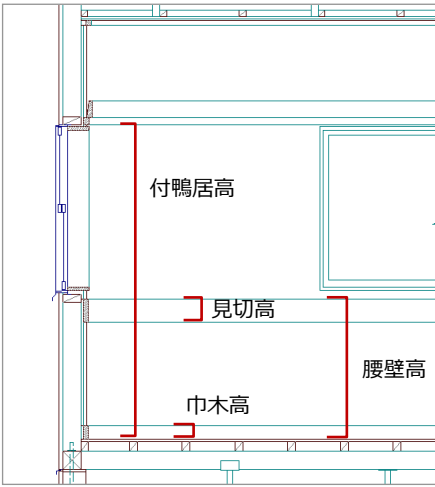


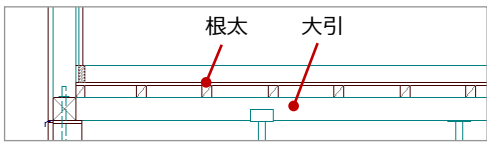
部屋マスタ		
<p>チェック <input type="checkbox"/> チェック</p>	<p>マスタを変更したときにチェックを付けておくと、マスタ選択の一覧に「✓」が表示され、変更済みのマスタかどうかを編集前に確認できます。</p>	<p>チェックをすべてクリアするには、マスタ選択画面の[処理]から[チェック全クリア]を選びます。</p>
<p>No. No. 023</p>	<p>部屋マスタの番号を指定して、マスタを切り替えます。</p>	
<p>1 点入力 一点入力 0帖</p>	<p>平面図で部屋を1点入力するときの帖数の初期値を設定します。</p>	
<p>部屋名 部屋名 洋室</p>	<p>部屋名称を入力します (全角 10 文字まで)。平面図など [部屋] ダイアログでのリスト表示や各図面、内部仕上表などには、この名称が連動します。</p>	
<p>英語名 英語名 Room</p>	<p>部屋の英語表記を入力します。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>■ 関連設定 部屋入力時に日本語、英語で表記するかは、[物件初期設定 (共通マスタフォルダ)] の [部屋名称] で切り替えます。部屋入力後でも、[属性] メニューの [部屋名切替 (日本語⇄英語)] で切り替え可能。</p>
<p>塗り潰し 塗り潰し RGB</p>	<p>平面図で部屋領域を塗り潰すときの色を設定します。</p>	<p>■ 関連設定 [平面図 専用初期設定 (塗り潰し)] の [部屋 ON (マスタ設定色)] の時の色になります。</p>
<p>床仕上取込 床仕上取込</p>	<p>部屋の床仕上の素材から色を取り込んで、素材に近い単一色で部屋領域を塗り潰したい場合に使用します。</p>	

【部屋属性】	部屋マスタ																													
<p>天井高</p> <p>部屋床からの天井高を設定します (9m まで設定可能)。</p> <p>部屋属性 天井高 床高 + 2400.0 mm</p>		<ul style="list-style-type: none"> ■ パース・設計図面を作成する場合 パース、断面図、矩計図、展開図に連動します。これらは、この天井高と天井伏図で自動作成される内部天井仕上から作成されます。 ■ 申請・性能表示図面を作成する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 法規 LVS で自動作成される区画属性の天井高に連動。 ・ 軸組計算 (性能表示) で自動配置される準耐力壁等の下地貼高さに連動。 ・ シックハウスチェックで自動作成される居室の区画の平均天井高に連動。 ・ 温熱環境計算条件で延床面積 (気積) の算出に使用します (部屋属性から天井高を取得する場合)。 																												
<p>床高増減</p> <p>FL からの部屋床高 (増減) を設定します (上図)。平面図では、この床高の位置に床仕上を自動作成します。</p> <p>玄関のように FL より 180 mm 下がった位置を床仕上天端にしたいときは、「-180」とします。</p> <p>床高増減 FL ± 0.0 mm</p>		<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連設定 FL の位置は、[物件初期設定 (基準高さ情報)] で設定した [床厚] によって決まります。 ■ 2×4 造の場合 [2×4 部屋] にチェックを付けます。床仕上の「仕上厚+下地厚」の値が取り込まれ、構造用合板の天端が FL±0 となるように部屋床高が変更されます。 ⇒ 2×4 部屋については、P.27 参照 																												
<p>部屋タイプ</p> <p>部屋タイプは、主に平面図のデータ入力の判定材料となります (右を参照)。</p> 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 平面図 <ul style="list-style-type: none"> ・  で配置するカマチ、開口、畳、床の間は部屋タイプを参照します。 ・  メニューの  において、外部・内部に建具を入力する際の玄関・勝手口などの判定、隣接する部屋の判定で使用されます。 ・  メニューの  において、侵入開口部の判定材料になります (性能表示)。 ■ その他 ARCHITREND Virtual House Planning や他社製ソフトなどへ部屋データを連動させるための情報となります。 																												
<p>壁タイプ</p> <p>主に平面図の自動作成に影響します。平面図で自動作成する壁、柱のタイプ、建具額縁を設定します。たとえば、真壁タイプの部屋のときは、壁は真壁、柱は造作柱で自動作成されます。</p> 	 <p>外部</p> <p>内部</p> <p>【大壁】 【真壁】 【押入壁】 【ケーシング】 【枠タイプ】 【付柱タイプ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平面図 クイック建具入力時に大壁と真壁の判定材料にも使われます (クイック建具では大壁と真壁で入力する建具を分別)。 <table border="1" data-bbox="879 1469 1430 1765"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>自動作成する壁</th> <th>柱属性</th> <th>建具の額縁 (初期値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大壁</td> <td>大壁</td> <td>構造柱</td> <td>木製の額縁</td> </tr> <tr> <td>真壁</td> <td>真壁</td> <td>造作柱</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>押入壁</td> <td>真壁</td> <td>構造柱</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>204 壁等</td> <td></td> <td>ケーシングの額縁</td> </tr> <tr> <td>枠タイプ</td> <td>204 壁等</td> <td></td> <td>枠タイプの額縁</td> </tr> <tr> <td>付柱タイプ</td> <td>204 壁等</td> <td></td> <td>付柱タイプの額縁</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	自動作成する壁	柱属性	建具の額縁 (初期値)	大壁	大壁	構造柱	木製の額縁	真壁	真壁	造作柱	なし	押入壁	真壁	構造柱	なし	ケーシング	204 壁等		ケーシングの額縁	枠タイプ	204 壁等		枠タイプの額縁	付柱タイプ	204 壁等		付柱タイプの額縁
タイプ	自動作成する壁	柱属性	建具の額縁 (初期値)																											
大壁	大壁	構造柱	木製の額縁																											
真壁	真壁	造作柱	なし																											
押入壁	真壁	構造柱	なし																											
ケーシング	204 壁等		ケーシングの額縁																											
枠タイプ	204 壁等		枠タイプの額縁																											
付柱タイプ	204 壁等		付柱タイプの額縁																											

【部屋属性】	部屋マスタ	
<p>玄関建具</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 玄関建具 <input type="checkbox"/> 外部部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 2x4部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 床下通気 	<p>部屋に金属戸の引違い戸、片開き戸、両開き戸を入力した場合に、玄関建具用の枠見込を適用させたい場合にチェックを付けます。</p> <p>この場合、この部屋に建具を入力すると、自動的に建具属性が玄関建具になります（入力後、変更可能）。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図面を作成する場合 建具の枠見込は、平面詳細図、矩計図で表現されます。 ■ 性能表示を作成する場合（平面図） <ul style="list-style-type: none"> ・ メニューの 建具等級 の高齢者等への配慮において、内部建具（戸）に加えて玄関建具もチェック対象となります。 ・ メニューの 防犯開口 において、侵入開口部の判定材料となります。 ■ 関連設定 玄関建具の枠見込は、[物件初期設定（建具－描画・表現）]で設定します。
<p>外部部屋</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 玄関建具 <input checked="" type="checkbox"/> 外部部屋 <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 2x4部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 床下通気 	<p>主に平面図において、仕上の自動作成に影響します。ビルトインガレージのように部屋内部の壁を外壁仕上で作成したい場合にチェックを付けます（[壁仕上]が設定不可）。</p> <p>※部屋内部も外部標準マスタの外壁仕上が作成されます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連設定 [物件初期設定（外部標準）]で設定されている外部標準マスタが影響します。 ■ その他 外部部屋とすることで、外部部屋が考慮されるもの、考慮されないものがあります（一例）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築面積求積図の建築面積自動配置、軸組計算の床面積自動配置などの[外部部屋を対象とする]チェックのように、外部部屋を対象とすかどうかを確認してデータを作成するもの ・ 温熱環境計算条件の自動配置（熱的境界（壁））のように外部部屋を対象外とするもの
<p>居室</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 玄関建具 <input type="checkbox"/> 外部部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 2x4部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 床下通気 	<p>部屋を居室として扱う場合にチェックを付けます（右を参照）。</p> <p>居室としておくと、部屋領域の塗り潰しや部屋面積の作図を居室だけを対象に行うことができます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>食堂・居間 (24.84㎡)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 関連設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ [平面図 専用初期設定（塗り潰し）]の[居室のみ] ・ [平面図 専用初期設定（モード）]の[部屋面積を作図] - [居室のみ] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性能表示を作成する場合（平面図） <ul style="list-style-type: none"> ・ メニューの 建具等級 の空気環境・音環境では、チェック対象は居室部分の建具となります。 ・ メニューの 建具性能表 の「設置室」（居室、非居室）に連動します（立面図も同様）。 ■ 申請・性能表示図面を作成する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 法規 LVS の 自動 では、居室だけに対して採光・換気・排煙を判定できます。 ・ 法規 LVS の メニューの 性能表示(単独開口率) では、「居室の総床面積」を算出できます。 ・ シックハウスチェックの居室区画の種別（「住宅等の居室」「住宅等以外の居室」など）に連動します。
<p>2x4 部屋</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 玄関建具 <input type="checkbox"/> 外部部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input checked="" type="checkbox"/> 2x4部屋 <input type="checkbox"/> 床下通気 	<p>2x4 の物件のときに使用します。</p> <p>玄関やUB、浴室などを除いて、部屋の構造用合板の天端位置を FL±0 になりたい場合に ON にします。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連設定 構造用合板の厚さは、[物件初期設定（基準高さ情報）]の[構造用合板]タブの[構造用合板]で設定します。
<p>床下通気</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 玄関建具 <input type="checkbox"/> 外部部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 2x4部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 床下通気 	<p>床タイプが「モルタル（土間コン）」以外の床仕上マスタがセットされている場合に設定可能です（右を参照）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性能表示を作成する場合（温熱環境計算条件） <ul style="list-style-type: none"> ・ 床下通気ありの場合は、「熱的境界（床）」が自動配置されます（1階）。 ・ 上階では、下階に部屋がない場合に自動配置されます（外気に接する床に配置）。 ・ 床下通気なしの場合は、「熱的境界（土間床等）」が自動配置されます。

【天井仕上】		部屋マスタ
天井	<p>部屋に天井仕上を付けるかどうかを設定します。通常は ON にしますが、1 階階段室のように天井が付かない場合は OFF にします。ON のとき、天井伏図で天井仕上が自動作成されます。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 天井</p> <p>1. ビニール加工</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合 この天井仕様でパース、矩計図、展開図が作成されます。</p> <p>■ 内部天井仕上マスタでは 廻縁、竿縁の有無を設定します。パースで廻縁、竿縁を表現したい場合は、内部天井仕上マスタを確認します。 ⇒ 詳しい解説については、P.45 参照</p>
	<p>[仕上] で、内部天井マスタから部屋に合った天井仕様（仕上の素材、仕上厚など）を選びます。</p>	

【壁仕上】		部屋マスタ
壁	<p>部屋に壁仕上を付けるかどうかを設定します。通常は ON にします。ON のとき、平面図で内壁仕上が自動作成されます。OFF のときは自動作成されません。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 壁</p> <p>1. ビニール加工</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合 この壁仕様でパース、平面詳細図、矩計図、展開図が作成されます。</p>
	<p>[仕上] で、内壁仕上マスタから部屋の内壁仕様（仕上の素材、仕上厚、腰壁の有無など）を選び、[巾木高]などを設定します。</p>	
腰壁高	<p>腰壁ありの内壁仕上がセットされているときに、腰壁の高さを入力します（右図）。</p> <p>腰壁高 <input type="text" value="800.0 mm"/></p>	
付鴨居高	<p>付鴨居ありの内壁仕上がセットされているときに、部屋床から鴨居下端までの高さを入力します（右図）。</p> <p>付鴨居高 <input type="text" value="1800.0 mm"/></p>	
見切高	<p>見切ありの内壁仕上がセットされているときに、腰壁の上端からの見切の高さを入力します（見切高は腰壁に含まれます）（右図）。</p> <p>見切高 <input type="text" value="25.0 mm"/></p>	
巾木高	<p>巾木ありの内壁仕上がセットされているときに、FL からの巾木の高さを入力します（右図）。雑巾摺（巾木タイプが「雑巾摺」）も、この高さで作図されます。</p> <p>巾木高 <input type="text" value="60.0 mm"/></p>	

【床仕上】		部屋マスタ
床	<p>部屋に床仕上を付けるかどうかを設定します。たとえば、2 階階段室・吹抜のように床が付かない場合は OFF にします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 床</p> <p>9. フローリング</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合 この床仕様でパース、平面詳細図、矩計図が作成されます。矩計図では、根太・大引が描画されます。</p>
	<p>[仕上] で、床仕上マスタから部屋の床仕様（仕上の素材、仕上厚、根太・大引の有無など）を選びます。</p> <p>■ 床仕上マスタでは 根太・大引の有無、巾、せい、ピッチなどを設定します。床仕上に根太が設定されている場合、部屋属性で根太方向を設定できます。 ⇒ 詳しい解説については、P.34 参照</p>	
		<p>■ 構造図を作成する場合 木造床小屋伏図では、この床仕様で根太、大引が自動作成されます。</p>

【その他】		部屋マスタ																											
設備標準	<p>部屋に付ける設備を設定します（24 項目 設定可能）。</p> <table border="1" data-bbox="502 1713 837 1825"> <caption>設備標準設定</caption> <thead> <tr> <th>一覧</th> <th>No.</th> <th>名称</th> <th>積算</th> <th>個数</th> <th>OK</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>CL</td> <td>○</td> <td>1</td> <td rowspan="4">キャンセル</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>SW</td> <td>○</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>SSW</td> <td>×</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>コゼット</td> <td>×</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	一覧	No.	名称	積算	個数	OK		1	CL	○	1	キャンセル		2	SW	○	1		3	SSW	×	0		4	コゼット	×	0	<p>■ 設計図面を作成する場合 内部仕上表で部屋の設備を集計する場合に使用します。内部仕上表の自動集計で、仕上表の [設備] 項目に集計されます。</p>
一覧	No.	名称	積算	個数	OK																								
	1	CL	○	1	キャンセル																								
	2	SW	○	1																									
	3	SSW	×	0																									
	4	コゼット	×	0																									
備考設定	<p>内部仕様の備考内容（タオル掛け、紙巻器など部屋に付属するもの）を入力します（10 項目 設定可能）。</p> <table border="1" data-bbox="367 1915 837 2016"> <caption>備考設定</caption> <thead> <tr> <th>備考</th> <th>名称</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table>	備考	名称	摘要	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<p>■ 設計図面を作成する場合 内部仕上表で内部仕様を集計する場合に使用します。内部仕上表の自動集計で、仕上表の [備考] 項目に集計されます。</p>																					
備考	名称	摘要																											
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																											
積算情報	<p>積算する場合に使用します。部屋の仕上、設備、備考（内部仕様）に関する積算情報を設定します。</p> <p><input type="button" value="積算情報"/></p>																												

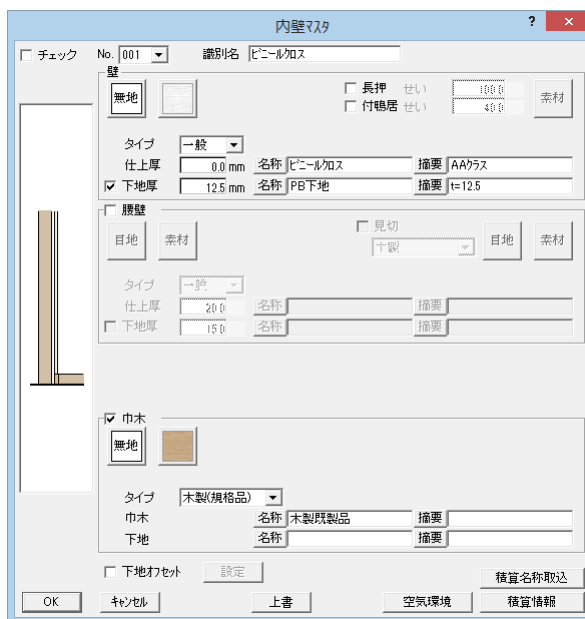
内壁仕上マスタ

部屋で使用する内壁仕上をマスタに登録します。ビニールクロスやタイルなどの仕上や下地、腰壁、巾木などの仕様を設定します。

※ 次のシンボルの属性（内壁仕上）にも内壁仕上マスタが使用されます。
内部手摺、階段手摺、出窓壁

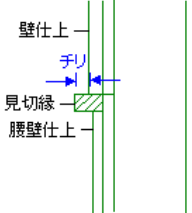
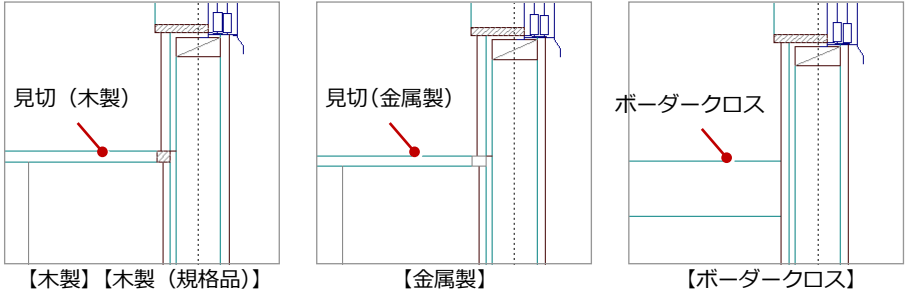
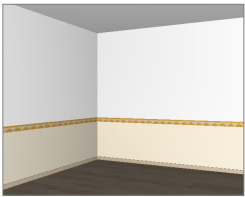
登録できる数



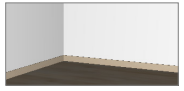
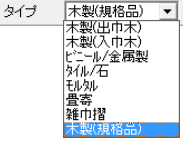
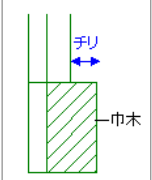
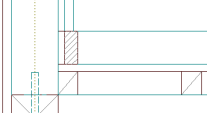
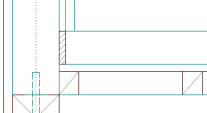
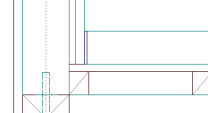
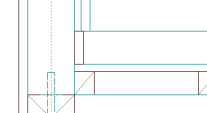
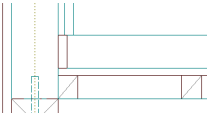
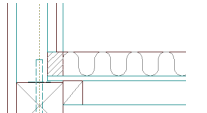
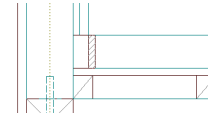
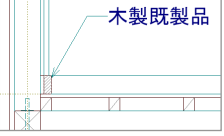
300 種まで登録が可能。


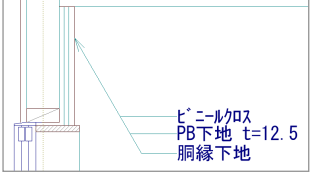
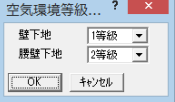



内壁仕上マスタ		
<p>チェック</p> <p><input type="checkbox"/> チェック</p>	<p>マスタを変更したときにチェックを付けておくと、マスタ選択の一覧に「✓」が表示され、変更済みのマスタかどうかを編集前に確認できます。</p>	<p>チェックをすべてクリアするには、マスタ選択画面の [処理] から [チェック全クリア] を選びます。</p>
<p>No</p> <p>No. 001</p>	<p>仕上マスタの番号を指定して、マスタを切り替えます。</p>	
<p>識別名</p> <p>識別名 ビニールクロス</p>	<p>マスタを識別する名称を入力します（全角 10 文字まで）。</p>	<p>内部仕上表などで表記される仕上名称ではありません。仕上名称は、[名称] で設定します。</p>
<p>目地</p> <p>無地</p>	<p>壁仕上の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 目地は、矩計図、展開図で表現されます。</p>
<p>素材</p> <p>壁 無地</p>	<p>壁仕上の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。</p>

【壁】		内壁仕上マスタ						
<p>タイプ</p> <p>タイプ <input type="button" value="一般"/> ▼</p>	<p>壁仕上のタイプ（一般、モルタル、ふかし）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常クロスなどの仕上のときは「一般」を選びます。 モルタル仕上のときやモルタル下地のタイル貼りのときは「モルタル」を選びます。 RC造の倉庫や内部に打放しを使用する場合に、コンクリートをふかして仕上げるときは「ふかし」を選びます。 <p>このとき、[仕上厚]にはふかきを考慮した厚さを設定します。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>モルタル壁に取り付く建具の額縁（初期値）を大壁や真壁の部屋とは異なる材質で指定できます。</p> <p>■ 関連設定</p> <p>[物件初期設定（建具－建具一括初期値）] ダイアログの [モルタル壁] で設定する額縁が取り付けます。平面図の一括作成（建具一括設定）が必要です。</p> <p>【木製】</p> <p>【アルミ製】</p> <p>【物件初期設定（建具－建具一括初期値）】</p>						
<p>仕上厚</p> <p>仕上厚 <input type="text" value="0.0"/> mm</p>	<p>壁仕上の厚さを入力します。</p> <p>仕上厚(下地厚と下地厚オフセットを含む)は、平面図 で表現されます。</p> <p>■ 注意</p> <p>クロスなど仕上が薄い場合、仕上を実際の厚さ（例、仕上厚 1 mm）で作図すると、図面上に作図される線分が見えにくくなります。</p> <p>この場合、[仕上厚] を実際より厚めに設定して、[摘要] に実際の寸法（例、t=2.0）を入力するとよいでしょう。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>仕上厚と下地厚は、平面詳細図、矩計図で表現されます。</p> <p>下地厚</p> <p>仕上厚</p> <p>ビニルクロス AAクラス PB下地 t=12.5</p>						
<p>下地厚</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 下地厚 <input type="text" value="12.5"/> mm</p>	<p>下地を付ける場合はチェックを付けて、壁の下地の厚さを入力します。</p>	<p>■ RC造の場合</p> <p>下地材がなくても「打放コンクリート補修」のような下地処理がある場合は、[下地厚]にチェックを付けて、下地厚は「0 mm」にします。このとき、[名称]には下地処理の名称を入力します。</p>						
<p>名称・摘要</p> <p>名称 <input type="text" value="ビニルクロス"/> 名称 <input type="text" value="PB下地"/> 摘要 <input type="text" value="AAクラス"/> 摘要 <input type="text" value="t=12.5"/></p>	<p>壁仕上と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します（全角25文字まで）。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>この名称と摘要で、平面詳細図、矩計図、内部仕上表に連動します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部屋名称</th> <th>下地</th> <th>仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁</td> <td>PB下地 t=12.5</td> <td>ビニルクロス AAクラス</td> </tr> </tbody> </table>	部屋名称	下地	仕上	壁	PB下地 t=12.5	ビニルクロス AAクラス
部屋名称	下地	仕上						
壁	PB下地 t=12.5	ビニルクロス AAクラス						
<p>長押・せい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 長押 せい <input type="text" value="100.0"/> mm</p>	<p>壁に長押を付ける場合はチェックを付けて、せいを入力します（右図）。</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合</p> <p>長押・付鴨居は、パース、矩計図、展開図で表現されます。</p> <p>長押 せい</p> <p>付鴨居 せい</p>						
<p>付鴨居・せい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 付鴨居 せい <input type="text" value="40.0"/> mm</p>	<p>壁に付鴨居を付ける場合はチェックを付けて、せいを入力します（右図）。</p>							
<p>素材（長押・付鴨居）</p>	<p>長押・付鴨居の素材（共通の素材）を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合</p> <p>素材は、パースモニタで表現されます。</p>						

【腰壁】		内壁仕上マスタ
<p>腰壁</p> <input checked="" type="checkbox"/> 腰壁	<p>腰壁を付けるときはチェックを付けます。 腰壁高は、部屋マスタでこの壁仕上マスタを選んだときに設定します。</p>	
<p>目地 (腰壁)</p> <input checked="" type="checkbox"/> 腰壁	<p>腰壁仕上の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 目地は、矩計図、展開図で表現されます。</p>
<p>素材 (腰壁)</p> <input checked="" type="checkbox"/> 腰壁	<p>腰壁仕上の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。</p>
<p>タイプ</p> <input type="text" value="タイプ"/> 一般	<p>腰壁仕上のタイプ (一般、モルタル、ふかし) を設定します。</p>	<p>「内壁仕上マスタ」の「壁」と同様です。</p>
<p>仕上厚</p> <input type="text" value="仕上厚"/> 15.0 mm	<p>腰壁の仕上の厚さを設定します。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 仕上厚・下地厚は、矩計図で表現されます。</p>
<p>下地厚</p> <input checked="" type="checkbox"/> 下地厚 <input type="text" value="12.5 mm"/>	<p>下地があるときはチェックを付けて、腰壁の下地の厚さを<input type="text" value="12.5 mm"/>を入力します。</p>	<p>ただし、見切の材質が「ボーダークロス」のとき、腰壁の仕上・下地は、内壁仕上と同じ厚さになります。</p>
<p>名称・摘要</p> <p>名称 [無垢板張り] 名称 [木脚縁下地] 摘要 [t=15] 摘要</p>	<p>腰壁仕上と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します (全角25文字まで)。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 この名称と摘要で、平面詳細図、矩計図、内部仕上表に連動します。</p>
<p>見切</p> <input checked="" type="checkbox"/> 見切 ボーダークロス	<p>腰壁と仕上の間に見切を付けるときはチェックを付けて、材質 (木製、金属製、木製 (規格品)、ボーダークロス) を選びます。</p> <p>トリムを表現したいときは、「ボーダークロス」を選びます。</p> <p>見切高は、部屋マスタでこの壁仕上マスタを選んだときに設定します。</p>	<p>■ 関連設定 材質が「木製」「金属製」「木製 (規格品)」のとき、見切のチリは、[物件初期設定 (壁)] ダイアログの [チリ] - [巾木・見切縁] で設定します。</p> 
	 <p>【木製】 【木製 (規格品)】 【金属製】 【ボーダークロス】</p>	
<p>目地 (見切)</p> <input checked="" type="checkbox"/> 無地	<p>材質が「ボーダークロス」のとき、見切の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 目地は、矩計図、展開図で表現されます。</p>
<p>素材 (見切)</p> <input checked="" type="checkbox"/> 無地	<p>見切の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。</p> 

【巾木】		内壁仕上マスタ
<p>巾木</p> <input checked="" type="checkbox"/> 巾木	<p>巾木を付ける場合は、チェックを付けます。 巾木高は、部屋マスタでこの壁仕上マスタを選んだときに設定します。</p>	
<p>目地</p> 	<p>巾木の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 目地は、矩計図、展開図で表現されます。</p>
<p>素材</p> 	<p>巾木の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合 素材は、パースモニターで表現されます。</p> 
<p>タイプ</p> 	<p>巾木のタイプを選択します。</p>	<p>■ 関連設定 巾木タイプが「木製(出巾木)」「木製(規格品)」のとき、巾木のチリには、[物件初期設定(壁)]の[チリ] - [巾木・見切縁]の値が連動します。 「雑巾摺」のときは、[真壁]の値が連動します。</p> 
	 <p>【木製(出巾木)】 【木製(規格品)】</p>  <p>【木製(入巾木)】</p>  <p>【ビニール/金属製】</p>  <p>【タイル/石】</p>  <p>【モルタル】</p>  <p>【霰寄】</p>  <p>【雑巾摺】</p>	
<p>巾木厚・下地厚</p> <p>タイプ タイル/石</p> <p>巾木厚 10.0 mm</p> <p>下地厚 10.0 mm</p>	<p>巾木タイプが「モルタル」「タイル/石」のとき、それぞれの厚さを設定できます。</p>	
<p>名称・摘要</p> <p>名称 木製既製品</p> <p>名称</p> <p>摘要</p> <p>摘要</p>	<p>巾木と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します(全角 25文字まで)。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 この名称と摘要で、矩計図、内部仕上表に連動します。</p> 

【その他】		内壁仕上マスタ
<p>下地オフセット</p> <input checked="" type="checkbox"/> 下地オフセット 設定	<p>壁と下地の間に胴縁下地などを取り付けたい場合に使用します。</p> <p>[設定]で胴縁下地などの取付厚と名称を設定します(名称は全角12文字まで)。壁構造ごとに設定できます。</p> 	<p>■ 設計図面を作成する場合 取付厚は、矩計図で表現されます。 下地オフセットの名称については、矩計図で仕上仕様で作図されます。また、内部仕上表の[壁] - [下地]に追記されます。</p> 
<p>空気環境</p> <input type="checkbox"/> 空気環境	<p>壁仕上、腰壁仕上ごとに下地の空気環境等級を設定します。</p> 	<p>■ 申請・性能表示図面を作成する場合 シックハウスチェックの内壁仕上の[建築材料区分]に連動します。</p>
<p>積算名称取込</p> <input type="checkbox"/> 積算名称取込	<p>[積算情報]で設定されているAM単価から各仕上、各下地の名称・摘要を[名称][摘要]に取り込みます。</p>	 <p>【積算情報】</p>
<p>積算情報</p> <input type="checkbox"/> 積算情報	<p>積算する場合に使用します。 仕上・下地の積算情報を設定します。</p>	

床仕上マスタ

部屋で使用する床仕上をマスタに登録します。フローリングやタイルなどの仕上や根太・大引の有無など、仕様を設定します。

※ 床仕上の場合は、内外の仕上を一つのマスタに登録します。

※ 次のシンボルの属性（床仕上）にも、床仕上マスタが使用されます。ポーチなどのシンボルで使用する仕上は、床仕上マスタに登録しておきましょう。

ロフト、階段、ポーチ、バルコニー、ドライエリア



登録できる数
300 種まで登録が可能。

床仕上マスタ	
	⇒ [チェック] [No] [識別名] については、P.25 参照

床		床仕上マスタ
<p>目地</p>	<p>床仕上の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p> <p>平面図でも床仕上の目地を作図できます。</p> <p>■ 関連設定 [平面図 専用初期設定 (モード)] の [床仕上目地を作図] が ON のときに作図されます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 目地は、平面詳細図で表現されます。</p>
<p>素材</p>	<p>床仕上の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。</p>
<p>タイプ</p> <p>床仕上のタイプ（一般、畳床、モルタル（土間コン））を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常、フローリングなどの仕上のときは「一般」を選びます。 和室のように畳の部屋とするときは「畳床」を選びます。 玄関のようにモルタルやコンクリート仕上のときは「モルタル（土間）」を選びます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 【一般】 </div> <div style="text-align: center;"> 【畳床】 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 【モルタル（土間コン）】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ユニットバスなどで土間コンによる底上げを配置しない場合、[ユニットバスタイプ] にチェックを付けます。 <p>タイプ モルタル(土間立) <input checked="" type="checkbox"/> ユニットバスタイプ</p>	<p>■ 申請・性能表示図面を作成する場合 温熱環境計算条件の熱的境界（床）、熱的境界（土間床等）に影響します。</p> <p>■ その他（平面図）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面図の で自動配置する畳は、「畳床」であるかどうかをみます。 平面図の メニューの の地袋（下枠の位置）に影響します。 平面図の メニューの において、部屋タイプが大壁であっても「畳床」であると、真壁の判定となります。 	

【床】		床仕上マスタ
仕上厚 <input type="text" value="15.0 mm"/>	床仕上の厚さを入力します。 床タイプが「畳床」のときは畳の厚さを入力します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図面を作成する場合 仕上厚と下地厚は、矩計図で表現されます。 ■ 設計図面を作成する場合 この名称と摘要で、平面詳細図、矩計図、内部仕上表に連動します。
下地厚 <input checked="" type="checkbox"/> 下地厚 <input type="text" value="12.0 mm"/>	下地を付ける場合はチェックを付けて、床の下地の厚さを入力します。	
名称・摘要 名称 <input type="text" value="カッションフロア"/> 名称 <input type="text" value="ラワン合板"/> 摘要 <input type="text" value="t=2.3"/> 摘要 <input type="text" value="t=12"/>	床仕上と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します（全角25文字まで）。	

【根太】		床仕上マスタ
根太 <input checked="" type="checkbox"/> 根太	床構造で根太があるときはチェックを付けます。 根太がない、または根太レス工法とするときはチェックをはずします。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図面を作成する場合 矩計図では、この床仕様で根太が作図されます。 ■ 関連設定 根太方向は、平面図の【部屋】ダイアログまたは床仕上属性で設定します。
材質 <input type="text" value="木製"/>	根太の材質（木製、金属製）を設定します。	
せい・幅 <input type="text" value="60.0 mm"/> <input type="text" value="45.0 mm"/>	根太のせい、幅を設定します。	
ピッチ <input type="text" value="903.8 mm"/> <input type="checkbox"/> モジュール寸法 <input type="text" value="1.00"/> / <input type="text" value="3.00"/>	根太を配置するピッチを設定します。 モジュール寸法を使用してピッチを決めるときは【モジュール寸法】にチェックを付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構造図を作成する場合 木造床小屋伏図では、この床仕様と根太方向（部屋属性）で根太が自動配置されます。 根太がない場合は、自動配置されません。 <p>なお、2×4造における耐力壁区画図の根太方向、2×4床伏図の根太には影響しません。伏図の根太には、耐力壁区画の根太方向が連動します。</p>

【大引】		床仕上マスタ
大引 <input checked="" type="checkbox"/> 大引	床構造で大引があるときはチェックを付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図面を作成する場合 矩計図では、この床仕様で大引が作図されます。 ■ 関連設定 大引方向は、平面図の【部屋】ダイアログまたは床仕上属性の根太方向によって決まります。 ■ 構造図を作成する場合 木造床小屋伏図では、この床仕様で大引が自動配置されます。 大引がない場合は、自動配置されません。
材質 <input type="text" value="木製"/>	大引の材質（木製、金属製）を設定します。	
せい・幅 <input type="text" value="105.0 mm"/> <input type="text" value="105.0 mm"/>	大引のせいと幅を設定します。	
ピッチ <input type="text" value="910.0 mm"/> <input checked="" type="checkbox"/> モジュール寸法 <input type="text" value="1.00"/> / <input type="text" value="1.00"/>	大引を配置するピッチを設定します。 モジュール寸法を使用してピッチを決めるときは【モジュール寸法】にチェックを付けます。	

【その他】		床仕上マスタ
空気環境 <input type="text" value="空気環境"/>	床の下地の空気環境等級を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 申請・性能表示図面を作成する場合 シックハウスチェックの床裏区画の【建築材料区分】に連動します。
<input type="text" value="積算名称取込"/> <input type="text" value="積算情報"/>	⇒ 【積算名称取込】【積算情報】については、P.32 参照	

外部標準マスタ

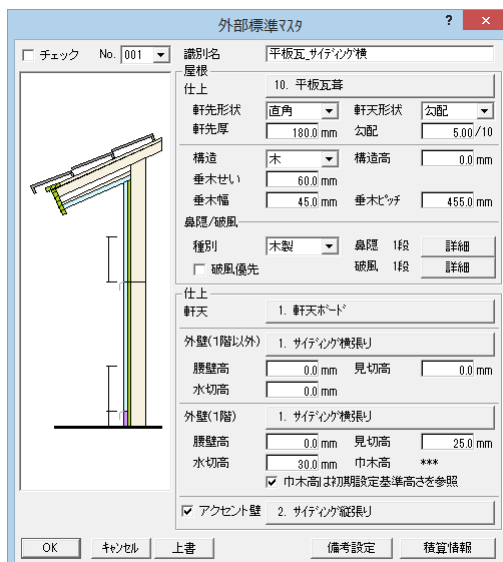
外部標準マスタは、外部仕上（外壁仕上、屋根属性（仕上・構造）、外部天井仕上）の初期値になります。

関連する設定

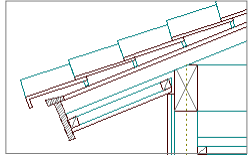
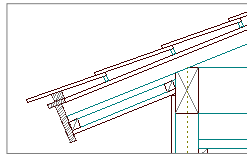
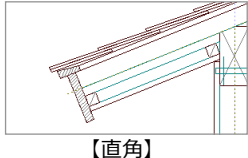
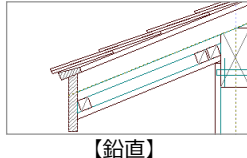
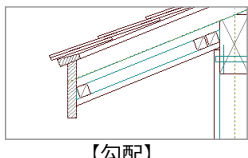
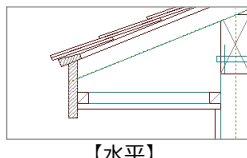
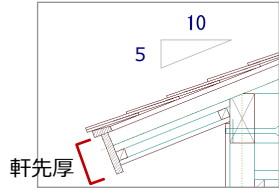
物件の外観仕様（初期値）で使用する外部標準マスタは、物件初期設定で指定する必要があります。
 例えば、右のダイアログ（「平板瓦_サイディング横」）の内容で外観を作成したいときは、[物件初期設定（外部標準）]で「No.1 平板瓦_サイディング横」のマスタを指定します。

登録できる数

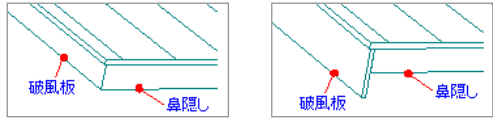
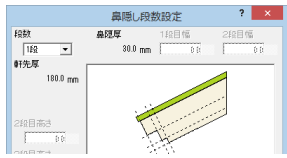
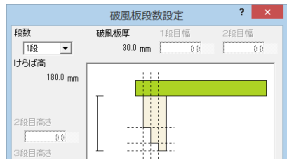
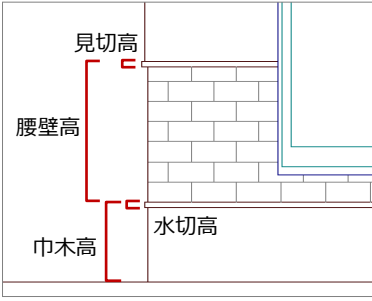
10 グループ×100 種=1000 種の登録が可能。



外部標準マスタ	
	⇒ [チェック] [No] [識別名] については、P.25 参照

【屋根】		外部標準マスタ
<p>仕上</p> <p>屋根 仕上 10. 平板瓦葺</p>	<p>[仕上] で、屋根仕上マスタから外観に合った屋根仕様（仕上の素材、仕上厚など）を選び、以降の [軒先形状] ~ [構造] を設定します。</p> <p>■ 屋根仕上マスタでは屋根の種類（和瓦、洋瓦、平板瓦など）などを設定します。</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合 この屋根仕様でパース、立面図、矩計図が作成されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【洋瓦】 【平板瓦】</p>
<p>軒先形状</p> <p>軒先形状 直角</p>	<p>軒先の形状（直角、鉛直）を設定します。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【直角】 【鉛直】</p>
<p>軒天形状</p> <p>軒天形状 勾配</p>	<p>軒天の形状（水平、勾配）を設定します。 軒天を表現するには、屋根伏図を作成後、天井伏図で外部天井を作成する必要があります。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【勾配】 【水平】</p>
<p>軒先厚</p> <p>軒先厚 180.0 mm</p>	<p>軒先の厚さを設定します。</p>	 <p style="text-align: center;">軒先厚</p>
<p>勾配</p> <p>勾配 5.00/10</p>	<p>屋根の勾配を設定します。</p>	
<p>構造</p> <p>構造 木</p>	<p>屋根の構造（木、2×4、S、RC、ALC、デッキプレート、折版）を設定します。</p>	<p>構造によって、設定項目が異なります。</p>

【屋根】		外部標準マスタ
<p>構造高</p> <p>構造高 <input type="text" value="0.0 mm"/></p>	<p>屋根基準線の高さから屋根をかさ上げするときに使用します。かさ上げする値を入力します。</p> <p>屋根構造が「木」の場合は、屋根基準線から垂木下端までの高さとなります。</p>	
<p>垂木せい 垂木幅 垂木ピッチ</p> <p>垂木せい <input type="text" value="60.0 mm"/> 垂木幅 <input type="text" value="45.0 mm"/> 垂木ピッチ <input type="text" value="455.0 mm"/></p>	<p>屋根構造が「木」「2×4」「S」のとき、垂木のせい・幅・ピッチを設定します。</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合 垂木は、パース、矩計図で表現されます。 ※ 屋根勾配が「0」のときの屋根断面</p> <p>構造「木」 </p> <p>構造「2×4」 </p> <p>構造「S」 </p> <p>※ 屋根勾配が「0」のときの屋根断面</p>
<p>スラブ厚</p> <p>構造 <input type="text" value="RC"/> RCスラブ厚 <input type="text" value="150.0 mm"/></p>	<p>構造が「RC」のとき、スラブの厚さを設定します。</p>	<p>※ 屋根勾配が「0」のときの屋根断面</p>
<p>ALC厚 ALC幅</p> <p>構造 <input type="text" value="ALC"/> ALC厚 <input type="text" value="60.0 mm"/> ALC幅 <input type="text" value="45.0 mm"/></p>	<p>構造が「ALC」のとき、ALCの厚さ、幅を各ボックスに設定します。</p>	<p>※ 屋根勾配が「0」のときの屋根断面</p>
<p>コンクリート厚 デッキ高 デッキピッチ</p> <p>構造 <input type="text" value="デッキプレート"/> コンクリート厚 <input type="text" value="70.0 mm"/> デッキ高 <input type="text" value="50.0 mm"/> デッキピッチ <input type="text" value="300.0 mm"/></p>	<p>構造が「デッキプレート」のとき、コンクリートの厚さ、デッキプレートの高さ、デッキプレートの山から山までの間隔を設定します。</p>	<p>※ 屋根勾配が「0」のときの屋根断面</p>
<p>折版高 折版ピッチ</p> <p>構造 <input type="text" value="折版"/> 折版高 <input type="text" value="150.0 mm"/> 折版ピッチ <input type="text" value="250.0 mm"/></p>	<p>構造が「折版」のときに、折版の高さ、折版の山から山までの間隔を設定します。</p>	<p>※ 屋根勾配が「0」のときの屋根断面</p>

【鼻隠／破風】		外部標準マスタ
種別 <small>鼻隠/破風</small> 種別 <input type="text" value="木製"/>	鼻隠、破風板の種別（木製、金属製、セメント系、その他）を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ パース・設計図面を作成する場合 鼻隠、破風板は、パース、立面図、矩計図で表現されます。 ■ 関連設定 種別によって、パースで表現される鼻隠、破風板の素材が異なります。 素材は、[物件初期設定（素材）]で材質ごとに設定します。
破風優先 <input type="checkbox"/> 破風優先	鼻隠と破風板のおさまりで、破風板を優先させる場合はチェックを付けます。 鼻隠と破風板を同じサイズにする場合はチェックをはずします。	
鼻隠 <small>鼻隠 1段 詳細</small>	鼻隠の段数が表示されます。[詳細]で鼻隠の形状を設定します。	
破風 <small>破風 1段 詳細</small>	破風板の段数が表示されます。[詳細]で破風板の形状を設定します。	
【仕上】		外部標準マスタ
軒天 <small>仕上</small> 軒天 <input type="text" value="1. 軒天ボード"/>	[仕上]で、外部天井仕上マスタから屋根に合った軒天仕様（仕上の素材、仕上厚など）を選びます。	軒天（外部天井）は、屋根伏図の屋根データを参照して天井伏図で自動作成します。
【外壁仕上（1階）】 【外壁仕上（1階以外）】		外部標準マスタ
外壁仕上 <small>外壁(1階)</small> <input type="text" value="1. サイディング標準"/>	[仕上]で、外観1階で使用する外壁仕上（仕上の素材、仕上厚、腰壁の有無など）と1階以外で使用する外壁仕上をそれぞれ選びます。 1階以外を1階と同じ壁仕上にするときは、[外壁仕上（1階）]と同じ壁仕上を設定しておきます。	<ul style="list-style-type: none"> ■ パース・設計図面を作成する場合 この壁仕様でパース、平面詳細図、矩計図が作成されます。
腰壁高 腰壁高 <input type="text" value="0.0 mm"/>	腰壁ありの外壁仕上セットされているとき、腰壁の高さを入力します。	
見切高 見切高 <input type="text" value="25.0 mm"/>	見切ありの外壁仕上セットされているとき、腰壁の上端からの見切の高さを入力します（見切高は腰壁に含まれます）。	
水切高 水切高 <input type="text" value="30.0 mm"/>	水切ありの外壁仕上セットされているとき、巾木の上端からの水切の高さを入力します（水切高は巾木に含まれます）。	
巾木高 巾木高 <input type="text" value="400.0 mm"/> <input checked="" type="checkbox"/> 巾木高は初期設定基準高さを参照	巾木ありの外壁仕上セットされているとき、FLからの巾木の高さを入力します。 [外壁仕上（1階以外）]では設定できません。	
アクセント壁 <input checked="" type="checkbox"/> アクセント壁 <input type="text" value="2. サイディング標準"/>	アクセント壁の仕上を設定します。 外壁部分張替え時の初期値になります。	
【その他】		外部標準マスタ
備考設定 <input type="button" value="備考設定"/>	外部仕様の備考内容（軒樋、豎樋など外部に付属するもの）を入力します（10項目 設定可能）。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図面を作成する場合 外部仕上で外部仕様を集計する場合に使用します。外部仕上表の自動集計で、仕上表の【備考】項目に集計されます。
積算情報 <input type="button" value="積算情報"/>	積算する場合に使用します。外部の仕上、備考（外部仕様）に関する積算情報を設定します。	

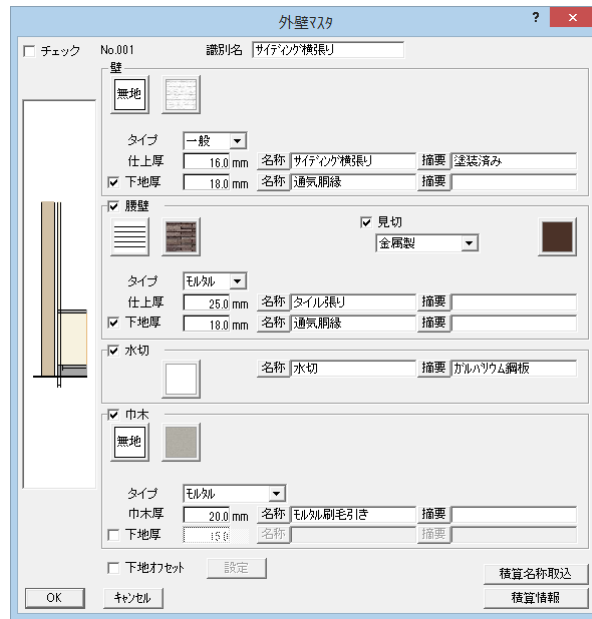
外壁仕上マスタ

外部で使用する外壁仕上をマスタに登録します。サイディングやモルタル吹付などの仕上や下地、腰壁、巾木などの仕様を設定します。

※ 次のシンボルの属性（外壁仕上）にも外壁仕上が使用されます。塀などのシンボルで使用する仕上は、外壁仕上マスタに登録しておきましょう。

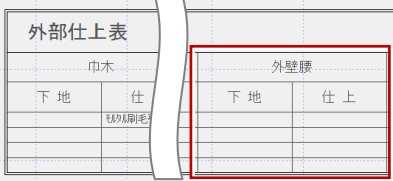
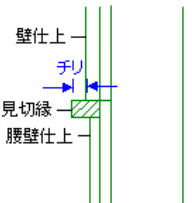

外部手摺、バルコニー手摺、階段手摺、ポーチ柱、出窓壁、塀、スロープ手摺、妻壁、ドーマ、パラペット


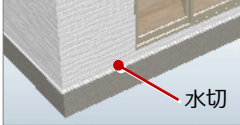
登録できる数
300 種まで登録が可能。



外壁仕上マスタ	
	⇒ [No] [識別名] [チェック] については、P.25 参照

		外壁仕上マスタ
【壁】		
<p>目地</p>	<p>壁仕上の目地を設定します。素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 目地は、立面図で表現されます。</p>
<p>素材</p>	<p>壁仕上の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。</p>
<p>タイプ</p>	<p>壁仕上のタイプ（一般、モルタル、ふかし）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常サイディングなどの仕上のときは「一般」を選びます。 モルタル仕上のときやモルタル下地のタイル貼りのときは「モルタル」を選びます。 打放しを使用する場合に、コンクリートをふかして仕上げるときは「ふかし」を選び、「仕上厚」にふかしを考慮した厚さを設定します。 	<p>■ 設計図面を作成する場合 RC 造の場合に、ふかし壁に取り付く建具には、だきと面取りが設定されます。</p> <p>このとき、ふかし線が表現されます。</p>
<p>仕上厚</p>	<p>壁仕上の厚さを入力します（右図）。仕上厚（下地厚と下地厚オフセットを含む）は、平面図 で表現されます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 仕上厚と下地厚は、平面詳細図、矩計図で表現されます。</p>
<p>下地厚</p>	<p>下地を付ける場合はチェックを付けて、壁の下地の厚さを入力します。</p> <p>■ RC 造の場合 下地材がなくても「打放コンクリート補修」のような下地処理がある場合は、[下地厚] にチェックを付けて、下地厚は「0 mm」にします。このとき、[名称] には下地処理の名称を入力します。</p>	<p>立面図、断面図ではこれらを表現しませんが、仕上厚と下地厚で建物の見付面などが変わります。</p>
<p>名称・摘要</p>	<p>壁仕上と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します（全角 25 文字まで）。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 この名称と摘要で、平面詳細図、立面図、矩計図、外部仕上表に連動します。</p>

【腰壁】		外壁仕上マスタ
腰壁 <input checked="" type="checkbox"/> 腰壁	腰壁を付けるときはチェックを付けます。	腰壁高は、外部標準マスタでこの壁仕上マスタを選んだときに設定します。
目地 <input checked="" type="checkbox"/> 腰壁	腰壁仕上の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。	■ 設計図面を作成する場合 目地は、立面図、展開図で表現されます。
素材（腰壁） <input checked="" type="checkbox"/> 腰壁	腰壁仕上の素材を設定します。	■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。
タイプ タイプ <input type="text" value="モルタル"/>	腰壁仕上のタイプ（一般、モルタル、ふかし）を設定します。	「外壁仕上マスタ」の「壁」と同様です。
仕上厚 仕上厚 <input type="text" value="25.0 mm"/>	腰壁の仕上の厚さを設定します。	■ 設計図面を作成する場合 仕上厚・下地厚は、矩計図で表現されます。
下地厚 <input checked="" type="checkbox"/> 下地厚 <input type="text" value="18.0 mm"/>	下地があるときはチェックを付けて、腰壁の下地の厚さを入力します。	
名称・摘要 名称 <input type="text" value="タイル張り"/> 名称 <input type="text" value="通気胴縁"/> 摘要 <input type="text"/> 摘要 <input type="text"/>	腰壁仕上と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します（全角 25 文字まで）。	■ 設計図面を作成する場合 この名称と摘要で、平面詳細図、立面図、矩計図、外部仕上表に連動します。 
見切 <input checked="" type="checkbox"/> 見切 <input type="text" value="金属製"/>	腰壁と仕上の間に見切を付けるときはチェックを付けて、材質（木製、金属製、木製（規格品））を選びます。 見切高は、外部標準マスタでこの壁仕上マスタを選んだときに設定します。 ※「内壁仕上マスタ」と同様です（⇒ P.31）。	■ 関連設定 見切のチリは、[物件初期設定（壁）]の「チリ」 - 「巾木・見切縁」で設定します。 
素材（見切） 	見切の素材を設定します。	■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。

【水切】		外壁仕上マスタ
水切 <input checked="" type="checkbox"/> 水切	水切を付ける場合は、チェックを付けます。	水切高は、外部標準マスタでこの壁仕上マスタを選んだときに設定します。
素材 	水切の素材を設定します。	■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。 
名称・摘要 名称 <input type="text" value="水切"/> 摘要 <input type="text" value="ガルバリウム鋼板"/>	水切の名称・摘要をそれぞれ入力します（全角 25 文字まで）。	■ 設計図面を作成する場合 この名称と摘要で、立面図、矩計図、外部仕上表に連動します。

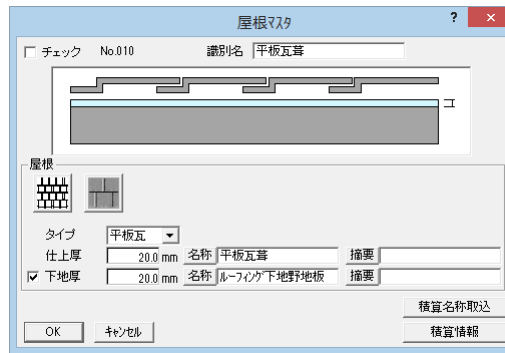
【巾木】		外壁仕上マスタ
<p>巾木</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 巾木</p>	<p>巾木を付ける場合は、チェックを付けます。</p>	<p>巾木高は、外部標準マスタでこの壁仕上マスタを選んだときに設定します。</p>
<p>目地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 巾木</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 無地</p>	<p>巾木の目地を設定します。</p> <p>素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>目地は、立面図で表現されます。</p>
<p>素材</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 巾木</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 無地</p>	<p>巾木の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合</p> <p>素材は、パースモニタで表現されます。</p>
<p>タイプ</p> <p>タイプ <input type="text" value="モルタル"/></p>	<p>巾木のタイプを選択します。</p>	<p>※「内壁仕上マスタ」と同様です (⇒ P.32)。</p>
<p>巾木厚・下地厚</p> <p>巾木厚 <input type="text" value="20.0 mm"/></p> <p><input type="checkbox"/> 下地厚 <input type="text" value="15.0"/></p>	<p>巾木タイプが「モルタル」「タイル/石」のとき、それぞれの厚さを設定できます。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>下地厚は、矩計図で表現されます。</p>
<p>名称・摘要</p> <p>名称 <input type="text" value="モルタル引き"/></p> <p>名称 <input type="text"/></p> <p>摘要 <input type="text"/></p> <p>摘要 <input type="text"/></p>	<p>巾木と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します (全角 25 文字まで)。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>この名称と摘要で、立面図、矩計図、外部仕上表に連動します。</p>

【その他】		外壁仕上マスタ																								
<p>下地オフセット</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 下地オフセット <input type="button" value="設定"/></p>	<p>壁と下地の間に胴縁下地などを取り付けたい場合に使用します。</p> <p>[設定] で胴縁下地などの取付厚と名称を設定します (名称は全角 12 文字まで)。壁構造ごとに設定できます。</p> <div data-bbox="438 1102 829 1272" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">下地オフセット設定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">厚み</th> <th style="width: 20%;">名称</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RC・CB・ALC</td> <td><input type="text" value="18.0 mm"/></td> <td><input type="text" value="GL工法"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄骨脚縁壁</td> <td><input type="text" value="20.0 mm"/></td> <td><input type="text" value="軽天下地"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>LGS壁</td> <td><input type="text" value="0.0 mm"/></td> <td><input type="text"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>木</td> <td><input type="text" value="12.0 mm"/></td> <td><input type="text" value="構造用合板"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S柱</td> <td><input type="text" value="20.0 mm"/></td> <td><input type="text" value="軽天下地"/></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">OK キャンセル</p> </div>		厚み	名称		RC・CB・ALC	<input type="text" value="18.0 mm"/>	<input type="text" value="GL工法"/>		鉄骨脚縁壁	<input type="text" value="20.0 mm"/>	<input type="text" value="軽天下地"/>		LGS壁	<input type="text" value="0.0 mm"/>	<input type="text"/>		木	<input type="text" value="12.0 mm"/>	<input type="text" value="構造用合板"/>		S柱	<input type="text" value="20.0 mm"/>	<input type="text" value="軽天下地"/>		<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>取付厚は、矩計図で表現されます。</p> <p>下地オフセットの名称については、立面図、矩計図で仕上仕様が作図されます。また、外部仕上表の [壁] - [下地] に追記されます。</p>
	厚み	名称																								
RC・CB・ALC	<input type="text" value="18.0 mm"/>	<input type="text" value="GL工法"/>																								
鉄骨脚縁壁	<input type="text" value="20.0 mm"/>	<input type="text" value="軽天下地"/>																								
LGS壁	<input type="text" value="0.0 mm"/>	<input type="text"/>																								
木	<input type="text" value="12.0 mm"/>	<input type="text" value="構造用合板"/>																								
S柱	<input type="text" value="20.0 mm"/>	<input type="text" value="軽天下地"/>																								
<p><input type="button" value="積算名称取込"/></p> <p><input type="button" value="積算情報"/></p>	<p>⇒ [積算名称取込] [積算情報] については、P.32 参照</p>																									

屋根仕上マスタ

瓦やコロニアルといった屋根の仕様（仕上、下地）をマスタに登録します。

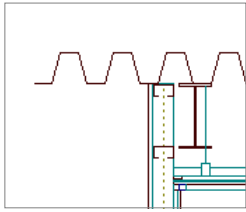
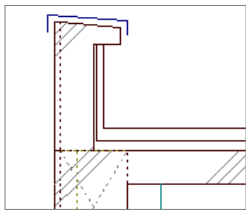
※ 次のシンボルの属性（屋根仕上）にも屋根仕上マスタが使用されます。
庇、出窓壁



登録できる数
300 種まで登録が可能。

屋根仕上マスタ	
	⇒ [No] [識別名] [チェック] については、P.25 参照

【屋根】	屋根仕上マスタ	
<p>目地</p>	<p>屋根仕上の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p> <p>■ 関連設定 屋根伏図で目地を描画するには、[屋根伏図 専用初期設定 (図面作成条件)] の [屋根目地描画] が影響します。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 目地は、屋根伏図、立面図などで表現されます。</p>
<p>素材</p>	<p>屋根仕上の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合 素材は、パースモニタで表現されます。</p>
<p>タイプ</p> <p>タイプ 平板瓦</p>	<p>屋根タイプ（和瓦、洋瓦、平板瓦、折版など）により次図のように表現が異なります。 タイプは、屋根伏図で棟瓦／のし瓦の自動設定時の判断材料となります。</p> <p>■ 関連設定（コロニアルの場合のみ） 葺材押えの描画には、[屋根伏図 専用初期設定 (図面作成条件)] の [葺材押え] が影響します。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合 矩計図では、この屋根タイプを参照して屋根断面を表現します。</p> <p>■ 申請・性能表示図面を作成する場合 温熱環境計算条件の熱的境界（屋根）の仕様に影響します。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>矩計図において、和瓦、洋瓦など瓦の表現はプログラム固定です。矩計図で仕上厚は表現されません。</p> </div>

【屋根】		屋根仕上マスタ																
タイプ タイプ 平板瓦	 <p>【折版】</p>	 <p>【防水】</p> <p>仕上厚 下地厚</p>																
仕上厚 仕上厚 20.0 mm	屋根仕上の厚さを入力します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図面を作成する場合 下地厚は、矩計図で表現されます。 立面図・断面図では仕上厚を表現しませんが、仕上厚と下地厚で屋根の高さが変わります。 ■ 申請図面を作成する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 法規 LVS に影響します。屋根が遮蔽物になる場合、仕上厚と下地厚で屋根の高さが変わるため、採光計算における垂直距離（遮蔽物の高さ）に影響します。 ・ 日影・天空図に影響します。法規 LVS と同様に、自動作成される日影天空用建物の屋根の高さにも影響します。 																
下地厚 <input checked="" type="checkbox"/> 下地厚 20.0 mm	下地を付ける場合はチェックを付けて、屋根の下地の厚さを入力します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図面を作成する場合 この名称と摘要で、平面詳細図、矩計図、外部仕上表に連動します。 																
名称・摘要 名称 平板瓦葺 名称 ルーフing下地野地板 摘要 摘要	屋根仕上と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します（全角 25 文字まで）。	外部仕上表 <table border="1" data-bbox="1061 828 1436 996"> <thead> <tr> <th colspan="2">中木</th> <th colspan="2">屋根</th> </tr> <tr> <th>下地</th> <th>仕上</th> <th>下地</th> <th>仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>屋根剛毛引き</td> <td>ルーフing下地野地板</td> <td>平板瓦葺</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋根剛毛引き</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	中木		屋根		下地	仕上	下地	仕上		屋根剛毛引き	ルーフing下地野地板	平板瓦葺		屋根剛毛引き		
中木		屋根																
下地	仕上	下地	仕上															
	屋根剛毛引き	ルーフing下地野地板	平板瓦葺															
	屋根剛毛引き																	
【その他】		屋根仕上マスタ																
積算名称取込 積算情報	⇒ [積算名称取込] [積算情報] については、P.32 参照																	

内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ

内部天井仕上マスタでは、部屋で使用するビニールクロスや化粧石膏ボードなどの仕上や廻縁の有無などの仕様を設定します。


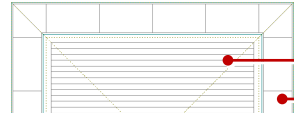

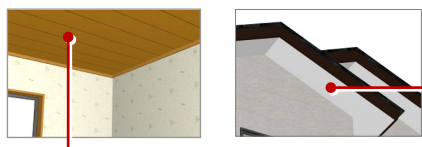
外部天井仕上マスタでは、軒天ボード・リシン吹付といった軒天の仕様を設定します。

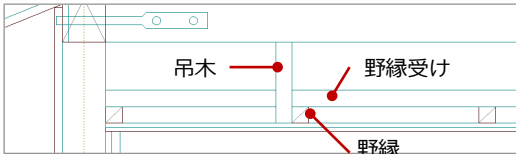
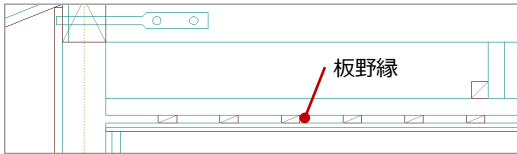
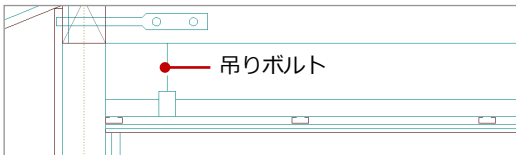
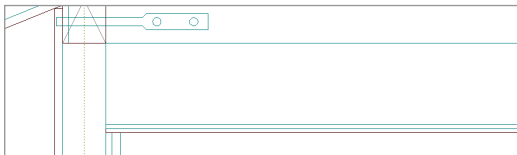
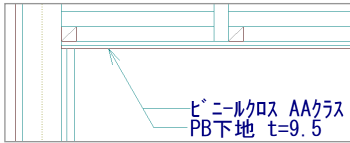
※ 次のシンボルの属性（天井仕上）にも内部天井仕上マスタが使用されます。
ロフト、階段、出窓壁

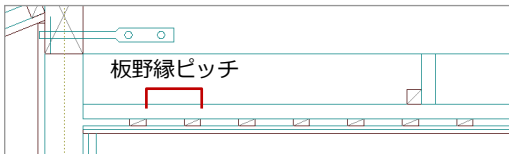
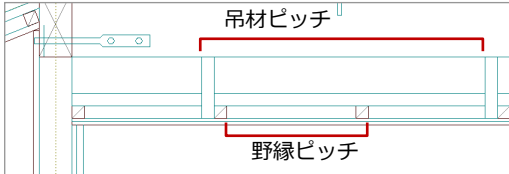
※ 次のシンボルの属性（軒天仕上）にも外部天井仕上マスタが使用されます。
バルコニー、ポーチ天井（天井伏図）、ドーム（屋根伏図）



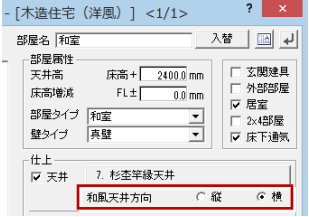
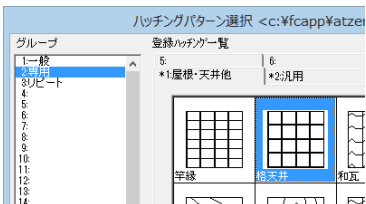



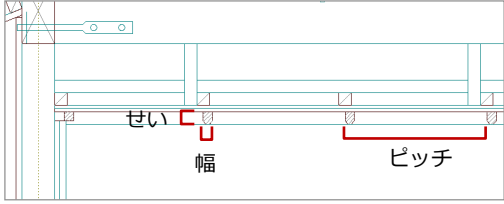
登録できる数
300 種まで登録が可能。

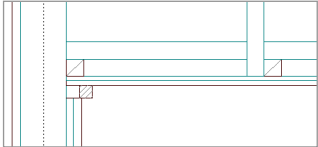
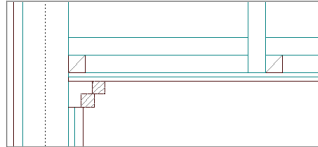
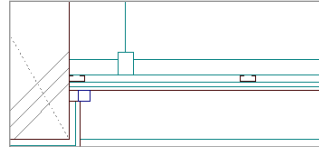
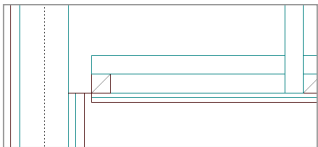
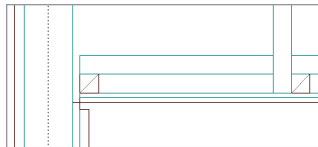
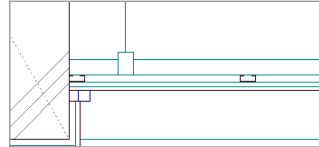


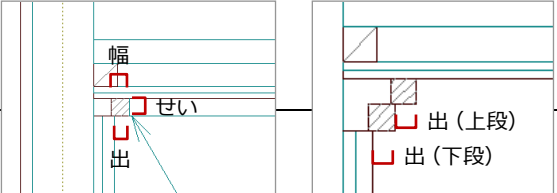
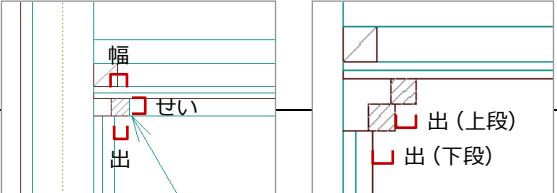


内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ		
	⇒ [No] [識別名] [チェック] については、P.25 参照	
<p>目地</p> 	<p>天井仕上の目地を設定します。 素材の目地が縦方向のときは、「縦目地素材用」から間隔に合った目地を選びます。</p> <p>天井伏図で目地を作図できます。</p>	 <p>内部天井仕上 外部天井仕上</p>
<p>素材</p> 	<p>天井仕上の素材を設定します。 素材は、パースモニタで表現されます。</p>	 <p>内部天井仕上 外部天井仕上</p>

【天井】		内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ	
<p>タイプ</p> <p>天井仕上のタイプ（木天地下、木天地下（板野縁）、軽天、野縁なし）を設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> タイプ 木天地下 木天地下(板野縁) 軽天 野縁なし </div> <ul style="list-style-type: none"> • 通常の木造天井のときは、「木天地下」を選びます。 • 天井仕上と野縁の間に板野縁を入れるときは、「木天地下（板野縁）」を選びます。 • 軽量鉄骨天井とするときは、「軽天」を選びます。 • 吊木、野縁なしの天井とするときは、「野縁なし」を選びます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【木天地下】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【木天地下（板野縁）】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【軽天】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【野縁なし】</p> </div> </div>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>天井タイプ（板野縁、吊材、野縁）は、矩計図で表現されます。</p> <p>※ 外部天井仕上の場合、吊材は表現されません。</p> <p>■ 申請・性能表示図面を作成する場合</p> <p>温熱環境計算条件の熱的境界（天井）に影響します。</p>		
<p>仕上厚</p> <p>天井仕上の厚さを入力します。</p> <p>仕上厚 <input type="text" value="0.0 mm"/></p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仕上厚・下地厚は、矩計図で表現されます。 • この名称と摘要で、平面詳細図、矩計図、仕上表に連動します。 		
<p>下地厚</p> <p>下地を付ける場合はチェックを付けて、天井の下地の厚さを入力します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 下地厚 <input type="text" value="9.5 mm"/></p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>この名称と摘要で、平面詳細図、矩計図、仕上表に連動します。</p> 		
<p>名称・摘要</p> <p>天井仕上と下地の名称・摘要をそれぞれ入力します（全角25文字まで）。</p> <p>名称 <input type="text" value="ビニルクロス"/> 名称 <input type="text" value="PB下地"/> 摘要 <input type="text" value="AAクラス"/> 摘要 <input type="text" value="t=9.5"/></p>			

【構造ピッチ】		内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ	
<p>板野縁ピッチ</p> <p>天井タイプが「木天地下（板野縁）」のときに、板野縁を配置するピッチを設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 構造ピッチ 板野縁ピッチ <input type="text" value="150.0 mm"/> <input type="checkbox"/> モジュール寸法 <input type="text" value="1.00"/> / <input type="text" value="0.99"/> </div> <p>モジュール寸法を使用してピッチを決めるときは[モジュール寸法]をONにします。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>板野縁、吊材、野縁は、矩計図で表現されます。</p> <p>※ 外部天井仕上マスタの場合、吊材は、矩計図で表現されません。</p>		
<p>吊材ピッチ</p> <p>吊材を配置するピッチを設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 吊材ピッチ <input type="text" value="910.0 mm"/> <input checked="" type="checkbox"/> モジュール寸法 <input type="text" value="1.00"/> / <input type="text" value="1.00"/> </div> <p>モジュール寸法を使用してピッチを決めるときは[モジュール寸法]をONにします。</p> <p>ただし、天井タイプが「野縁なし」のときは設定できません。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>板野縁ピッチ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>吊材ピッチ 野縁ピッチ</p> </div> </div>		
<p>野縁ピッチ</p> <p>野縁を配置するピッチを設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 野縁ピッチ <input type="text" value="455.0 mm"/> <input type="checkbox"/> モジュール寸法 <input type="text" value="1.00"/> / <input type="text" value="0.99"/> </div> <p>モジュール寸法を使用してピッチを決めるときは[モジュール寸法]をONにします。</p> <p>ただし、天井タイプが「野縁なし」のときは設定できません。</p>			

【和風天井】		内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ	
<p>和風天井</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 和風天井</p> <p><input type="checkbox"/> 竿縁</p> <p><input type="checkbox"/> 格天井</p>	<p>天井に竿縁を付けるとき、格天井とするときは ON にして、[竿縁][格天井]のどちらかを選びます。</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合</p> <p>竿縁・格天井は、パース・矩計図で表現されます。</p>	
<p>竿縁</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 和風天井</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 竿縁</p> <p><input type="checkbox"/> 格天井</p>	<p>竿縁の天井を表現するときは、チェックを入れます。</p> <p>■ 竿縁天井の目地について</p> <p>目地は天井伏図で作図されますが、天井仕上の[目地]で専用目地に変更する必要があります。</p> <p>竿縁の場合、専用ハッチングの「竿縁」を使用します。</p> 	<p>■ パースを作成する場合</p> <p>左に示す格子状の目地が設定されているときに、パースで和風天井が表現されます。</p>  <p>■ 関連設定</p> <p>竿縁方向は、平面図の[部屋]ダイアログ、または天井仕上属性で設定します。</p>  <p>【部屋ダイアログ】</p>	
<p>格天井</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 和風天井</p> <p><input type="checkbox"/> 竿縁</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 格天井</p>	<p>格天井を表現するときは、チェックを入れます。</p> <p>■ 格天井の目地について</p> <p>目地は天井伏図で作図されますが、天井仕上の[目地]で専用目地に変更する必要があります。</p> <p>格天井の場合、専用ハッチングの「格天井」を使用します。</p> 	<p>■ パースを作成する場合</p> <p>左に示す格子状の目地が設定されているときに、パースで和風天井が表現されます。</p> <p>■ 関連設定</p> <p>格天井の場合、平面図の[部屋]ダイアログまたは天井仕上属性の[和風天井方向]が竿縁の勝ち負けの方向となります。</p> 	
<p>市松</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市松</p>	<p>市松模様の天井を表現したいときはチェックを付けます。</p> <p>■ 市松模様の格天井の目地について</p> <p>[和風天井]が ON のとき、天井仕上の[目地]で専用目地に変更する必要があります。</p> <p>格天井と同じように専用ハッチングの「格天井」を使用します。</p> <p>■ 市松模様の目地について</p> <p>[和風天井]が OFF のとき、天井仕上の[目地]で汎用目地の格子上の目地（「格子：数」以外）に変更する必要があります。</p>	<p>■ パースを作成する場合</p> <p>左に示す格子状の目地が設定されているときに、パースで和風天井が表現されます。</p> 	
<p>素材</p> 	<p>竿縁・格天井の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合</p> <p>素材は、パースモニタで表現されます。</p>	
<p>せい・幅</p> <p>せい <input type="text" value="40.0 mm"/></p> <p>幅 <input type="text" value="30.0 mm"/></p>	<p>竿縁のせい・幅を設定します。</p>		
<p>ピッチ</p> <p>ピッチ <input type="text" value="455.0 mm"/></p> <p><input type="checkbox"/> モジュール寸法 <input type="checkbox"/> 1.00 / <input type="checkbox"/> 2.00</p>	<p>竿縁・格天井のピッチを設定します。</p> <p>モジュール寸法を使用してピッチを決めるときは[モジュール寸法]にチェックを付けます。</p>		

【廻縁】		内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ	
<p>廻縁</p> <input checked="" type="checkbox"/> 廻縁	<p>天井に廻縁を付けるときはチェックを付けます。</p> <p>外部天井仕上の場合、ポーチ天井として使用し、廻縁を付けるときはチェックを付けます。</p>	<p>■ パース・設計図面を作成する場合</p> <p>廻縁は、パース・矩計図で表現されます。ただし、外部天井仕上において、屋根の軒天として使用する場合、パース・矩計図で表現されません。</p>	
<p>タイプ</p>	<p>廻縁のタイプ（木製 1 重、木製 2 重、プラスチック/金属、天井底目地、壁底目地、木製（規格品））を選択します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content;"> タイプ 木製(規格品) ▾ 木製1重 木製2重 プラスチック/金属 天井底目地 壁底目地 木製(規格品) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【木製 1 重】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【木製 (規格品)】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【木製 2 重】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【天井底目地】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【壁底目地】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【プラスチック/金属】</p> </div> </div>		
<p>名称・摘要</p> <p>名称 <input type="text" value="木製既製品"/></p> <p>摘要 <input type="text"/></p>	<p>廻縁の名称・摘要を入力します（全角 25 文字まで）。</p>	<p>■ 設計図面を作成する場合</p> <p>この名称と摘要で、平面詳細図、矩計図、内部仕上表に連動します。</p>	
<p>素材</p> 	<p>廻縁タイプが「木製 1 重」「木製 2 重」「プラスチック/金属」「木製（規格品）」のときに設定可能です。廻縁の素材を設定します。</p>	<p>■ パースを作成する場合</p> <p>素材は、パースモニタで表現されます。</p>	
<p>上段：せい・幅</p> <p>上段 せい <input type="text" value="40.0 mm"/></p> <p>幅 <input type="text" value="40.0 mm"/></p> <p>出 <input type="text" value="15.0 mm"/></p>	<p>廻縁のせい・幅・出（壁仕上からの出）を設定します。</p> <p>廻縁タイプが「木製 2 重」のとき、上段の廻縁の出は、下段の廻縁からの出となります。</p>	<p>幅</p> <p>せい</p> <p>出</p>	
<p>下段：せい・幅</p> <p>下段 せい <input type="text" value="40.0 mm"/></p> <p>幅 <input type="text" value="45.0 mm"/></p> <p>出 <input type="text" value="35.0 mm"/></p>	<p>廻縁タイプが「木製 2 重」のとき、下段の廻縁のせい・幅・出（壁仕上面からの出）を設定します。</p>	<p>出 (上段)</p> <p>出 (下段)</p>	
【その他】		内部天井仕上マスタ・外部天井仕上マスタ	
<p>空気環境</p> <input type="text" value="空気環境"/>	<p>天井下地の空気環境等級を設定します。</p> <p>外部天井仕上では使用しません。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content;"> 空気環境等級... ? 下地 2等級 ▾ OK キャンセル </div>	<p>■ 申請・性能表示図面を作成する場合</p> <p>シックハウスチェックの天井裏区画の【建築材料区分】に連動します</p>	
<p>積算名称取込</p> <input type="text"/>	<p>⇒ [積算名称取込] [積算情報] については、P.32 参照</p>		
<p>積算情報</p> <input type="text"/>			